

大野町個別施設計画

岐阜県大野町

令和3年7月

(令和6年3月一部改訂)

目次

第1章 計画の概要.....	1
(1) 策定と背景と目的.....	1
(2) 公共施設等総合管理計画と個別施設との関係.....	1
(3) 計画期間.....	2
(4) 計画の対象施設.....	2
(4) - 1 対象施設の条件.....	2
(4) - 2 対象施設一覧.....	2
(5) 公共施設マネジメントの実践.....	5
(5) - 1 公共施設マネジメントが目指すもの.....	5
(5) - 2 公共施設マネジメントの考え方（優先順位の考え方）.....	5
(6) 再編に関する事項.....	7
(6) - 1 再編の方向性の検討方法.....	7
(7) 本計画の見方（参考）.....	9
(7) - 1 施設の現況.....	9
(7) - 2 施設の利用状況及び管理運営に係る経費.....	10
(7) - 3 施設の具体的な方向性.....	10
第2章 各公共施設の方針.....	11
1 庁舎施設.....	11
1 - (1) 施設設置の背景と目的.....	11
1 - (2) 施設を取り巻く現状と課題.....	11
1 - (3) 施設の役割.....	11
1 - (4) 施設の現況.....	11
1 - (5) 点検診断の年間予定.....	12
1 - (6) 点検診断の実施状況.....	13
1 - (7) 管理運営費の状況.....	14
1 - (8) 利用状況.....	14
1 - (9) 役場庁舎の大規模修繕履歴.....	15
1 - (10) 対策費用の見通し.....	17
1 - (11) 管理運営費等の見通し.....	17
1 - (12) 施設の評価結果.....	18
1 - (13) 施設の再編等スケジュール.....	18
2 消防施設.....	19
2 - (1) 施設設置の背景と目的.....	19
2 - (2) 施設を取り巻く現状と課題.....	19
2 - (3) 施設の役割.....	19
2 - (4) 施設の現況.....	19

2 - (5) 管理運営費の状況	20
2 - (6) 利用状況.....	20
2 - (7) 大規模修繕履歴.....	20
2 - (8) 対策費用の見通し	21
2 - (9) 管理運営費等の見通し.....	21
2 - (10) 施設の評価結果	22
2 - (11) 施設の再編等スケジュール.....	22
3 児童福祉施設	24
3 - (1) 施設設置の背景と目的.....	24
3 - (2) 施設を取り巻く現状と課題	24
3 - (3) 施設の役割.....	24
3 - (4) 施設の現況.....	25
3 - (5) 点検診断の年間予定	25
3 - (6) 点検診断の実施状況	28
3 - (7) 管理運営費の状況	30
3 - (8) 利用状況.....	30
3 - (9) 児童福祉施設の大規模修繕履歴	30
3 - (10) 対策費用の見通し	31
3 - (11) 管理運営費等の見通し	32
3 - (12) 施設の評価結果	32
3 - (13) 施設の再編等スケジュール.....	33
4 保健・福祉施設	35
4 - (1) 施設設置の背景と目的.....	35
4 - (2) 施設を取り巻く現状と課題	35
4 - (3) 施設の役割.....	35
4 - (4) 施設の現況.....	35
4 - (5) 管理運営費の状況	35
4 - (6) 利用状況.....	36
4 - (7) 保健センター・福祉センターの大規模修繕履歴.....	36
4 - (8) 対策費用の見通し	37
4 - (9) 管理運営費等の見通し.....	37
4 - (10) 施設の評価結果	38
4 - (12) 施設の再編等スケジュール.....	38
5 衛生施設	39
5 - (1) 施設設置の背景と目的.....	39
5 - (2) 施設を取り巻く現状と課題	39
5 - (3) 施設の役割.....	39
5 - (4) 施設の現況.....	39

5 - (5) 管理運営費の状況	41
5 - (6) 利用状況.....	42
5 - (7) 対策費用の見通し	43
5 - (8) 管理運営費等の見通し.....	44
5 - (9) 施設の評価結果.....	45
5 - (10) 施設の再編等スケジュール.....	46
6 墓地	49
6 - (1) 施設設置の背景と目的.....	49
6 - (2) 施設を取り巻く現状と課題	49
6 - (3) 施設の役割.....	49
6 - (4) 施設の現況.....	49
6 - (5) 管理運営費の状況	49
6 - (6) 利用状況.....	49
6 - (7) 対策費用の見通し	50
6 - (8) 管理運営費等の見通し.....	50
6 - (9) 施設の評価結果.....	50
6 - (10) 施設の再編等スケジュール.....	51
7 農業施設	52
7 - (1) 施設設置の背景と目的.....	52
7 - (2) 施設を取り巻く現状と課題	52
7 - (3) 施設の役割.....	52
7 - (4) 施設の現況.....	53
7 - (5) 管理運営費の状況	54
7 - (6) 利用状況.....	54
7 - (7) 対策費用の見通し	55
7 - (8) 管理運営費等の見通し.....	56
7 - (9) 施設の評価結果.....	56
7 - (10) 施設の再編等スケジュール.....	57
8 産業施設	59
8 - (1) 施設設置の背景と目的.....	59
8 - (2) 施設を取り巻く現状と課題	59
8 - (3) 施設の役割.....	59
8 - (4) 施設の現況.....	60
8 - (5) 管理運営費の状況	60
8 - (6) 利用状況.....	61
8 - (7) 対策費用の見通し	61
8 - (8) 管理運営費等の見通し.....	61
8 - (9) 施設の評価結果.....	62

8 - (10) 施設の再編等スケジュール.....	62
9 公園施設.....	63
9 - (1) 施設設置の背景と目的.....	63
9 - (2) 施設を取り巻く現状と課題.....	63
9 - (3) 施設の役割.....	63
9 - (4) 施設の現況.....	63
9 - (5) 管理運営費の状況.....	65
9 - (6) 利用状況.....	65
9 - (7) 対策費用の見通し.....	65
9 - (8) 管理運営費等の見通し.....	65
9 - (9) 施設の評価結果.....	65
9 - (10) 施設の再編等スケジュール.....	66
10 公営住宅.....	67
10 - (1) 施設設置の背景と目的.....	67
10 - (2) 施設を取り巻く現状と課題.....	67
10 - (3) 施設の役割.....	67
10 - (4) 施設の現況.....	67
10 - (5) 管理運営費の状況.....	68
10 - (6) 利用状況.....	68
10 - (7) 対策費用の見通し.....	68
10 - (8) 管理運営費等の見通し.....	69
10 - (9) 施設の評価結果.....	69
10 - (10) 施設の再編等スケジュール.....	69
11 排水施設.....	71
11 - (1) 施設設置の背景と目的.....	71
11 - (2) 施設を取り巻く現状と課題.....	71
11 - (3) 施設の役割.....	71
11 - (4) 施設の現況.....	71
11 - (5) 管理運営費の状況.....	71
11 - (6) 利用状況.....	72
11 - (7) 対策費用の見通し.....	72
11 - (8) 管理運営費等の見通し.....	72
11 - (9) 施設の評価結果.....	72
11 - (10) 施設の再編等スケジュール.....	73
12 学校施設.....	74
12 - (1) 施設設置の背景と目的.....	74
12 - (2) 施設を取り巻く現状と課題.....	74
12 - (3) 施設の役割.....	74

1 2 - (4) 施設の現況	74
1 2 - (5) 管理運営費の状況	77
1 2 - (6) 利用状況	77
1 2 - (7) 対策費用の見通し	78
1 2 - (8) 管理運営費等の見通し	78
1 2 - (9) 施設の評価結果	79
1 2 - (10) 施設の再編等スケジュール	79
1 3 社会教育施設	81
1 3 - (1) 施設設置の背景と目的	81
1 3 - (2) 施設を取り巻く現状と課題	81
1 3 - (3) 施設の役割	82
1 3 - (4) 施設の現況	83
1 3 - (5) 管理運営費の状況	84
1 3 - (6) 利用状況	85
1 3 - (7) 対策費用の見通し	86
1 3 - (8) 管理運営費等の見通し	87
1 3 - (9) 施設の評価結果	88
1 3 - (10) 施設の再編等スケジュール	89
1 4 普通財産施設【旧大野町学校給食センター】	93
1 4 - (1) 施設設置の背景と目的	93
1 4 - (2) 施設を取り巻く現状と課題	93
1 4 - (3) 施設の現況	93
1 4 - (4) 管理運営費の状況	93
1 4 - (5) 利用状況	93
1 4 - (6) 対策費用の見通し	94
1 4 - (7) 管理運営費等の見通し	94
1 4 - (8) 施設の評価結果	94
1 4 - (9) 施設の再編等スケジュール	95
1 5 普通財産施設【旧デイサービスセンター】	96
1 5 - (1) 施設設置の背景と目的	96
1 5 - (2) 施設を取り巻く現状と課題	96
1 5 - (3) 施設の現況	96
1 5 - (4) 管理運営費の状況	96
1 5 - (5) 利用状況	96
1 5 - (6) 対策費用の見通し	97
1 5 - (7) 管理運営費等の見通し	97
1 5 - (8) 施設の評価結果	97
1 5 - (9) 施設の再編等スケジュール	98

第3章 本計画の進捗管理について.....	99
(1) - 1 方針.....	99
(1) - 2 推進体制.....	99

第1章 計画の概要

(1) 策定と背景と目的

全国の地方公共団体では、厳しい財政状況が続く中で、公共施設等の維持管理・更新は財政上にも大きな負担となり必要な他の公共サービスにも影響を与えかねないことが懸念されます。そこで総務大臣より各自治体に対し、公共施設等の総合的かつ計画的な管理を推進するための計画（公共施設等総合管理計画）の策定に取り組むよう、通知が発出されました。

大野町においても、人口減少や少子高齢化に伴い、公共施設等の利用需要が変化していくことが予想され、全ての公共施設等の老朽化状況や利用状況を分析し、今後の見通しも考慮した長期的な施設維持管理が求められています。

町ではこれらの対応として、更新や統廃合、長寿命化などを計画的に行い、財政負担の軽減・平準化を図らなくてはなりません。そこで、町の公共施設等の計画的な管理及び最適な配置に関する基本的な方針を定めるため、平成28年3月に「大野町公共施設等総合管理計画」が策定されました。

公共施設等総合管理計画においては、計画の実効性を高めるため、順次、「個別施設計画」を策定するものとされています。

(2) 公共施設等総合管理計画と個別施設との関係

大野町庁舎個別施設計画（以下、本計画）は、平成28年3月に策定された大野町総合施設等総合管理計画を上位計画とした公共施設の個別計画として位置付けられます。



(3) 計画期間

計画期間については、本計画の上位計画である大野町公共施設等総合管理計画が平成29年度から令和7年度を計画期間としていることから、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とします。なお、公共施設等総合管理計画の見直しなどにより適宜見直しを図っていきます。

(4) 計画の対象施設

(4) - 1 対象施設の条件

本計画の対象施設は一般会計で整備された施設の更新経費及び維持管理費用等の抑制や平準化を目的の一つとしていることから、以下の施設については対象から除外します。

企業会計等の施設

【施設例】上水道会計、池田町大野町学校給食センター等

【理由】独立した企業会計において別途計画を策定し、その計画に基づき進捗管理を行うため。

インフラ施設

【施設例】橋梁・トンネル 等

【理由】別途各インフラに関する計画等で進捗管理を行うため。

(4) - 2 対象施設一覧

上記の1の条件から、本計画の対象とする公共施設は、以下のとおり93施設となります。なお、延べ床面積は、令和2年3月現在の数値です。

施設類型	No	名称	延べ床面積
庁舎施設	1	大野町役場	5,152.42
消防施設	2	消防第1分団車庫	65.00
	3	消防第2分団車庫	55.00
	4	消防第3分団車庫	50.00
	5	消防第4分団車庫	60.00
	6	消防第5分団コミュニティ消防センター	60.30
	7	消防第6分団車庫	55.00
児童福祉施設	8	西こども園	1,346.93
	9	南こども園	1,014.50

施設類型	No	名称	延べ床面積
児童福祉施設	10	旧ことばの教室	131.00
	11	幼児療育センターなないろ	647.93
	12	子育てはうす ばすてる	357.00
保健・福祉施設	13	保健センター	219.72
	14	福祉センター	992.50
衛生施設	15	不燃物処理場	363.23
	16	ごみステーション(寺内)	33.12
	17	ごみステーション(松山)	39.74
	18	ごみステーション(下座倉)	38.88
	19	ごみステーション(郡家)	33.12
	20	ごみステーション(宝来)	38.88
	21	ごみステーション(黒野中区)	38.88
	22	ごみステーション(黒野東区)	39.74
	23	ごみステーション(瀬古)	39.74
	24	ごみステーション(西方)	38.88
	25	ごみステーション(大野1区)	33.12
	26	ごみステーション(大野2区)	38.88
	27	ごみステーション(大野3区)	38.88
	28	ごみステーション(南方)	38.88
	29	ごみステーション(みどりニュータウン)	39.74
30	ごみステーション(五之里)	39.74	
31	ごみステーション(牛洞)	39.74	
32	ごみステーション(黒野北区)	24.30	
墓地	33	西霊園	28.00
農業施設	34	産地形成促進施設(ルート303)	450.00
	35	黒野西転作定着化研修センター	125.87
	36	松山転作定着化研修センター	127.51
	37	寺内転作定着化研修センター	142.43
	38	公郷転作定着化研修センター	141.03
	39	島部転作促進技術研修センター	141.69
	40	バラ公園内育種施設、展示・直売所・研修室 (バラ公園内)	389.81
41	東屋(絆の森)	14.58	
産業施設	42	道の駅 地域振興施設	1,900.00
	43	道の駅 トイレ・情報館	260.00
	44	道の駅 屋根付回廊	1,100.00

施設類型	No	名称	延べ床面積
公園	45	木振ふれあい公園（トイレ）	29.00
	46	やまびこ公園（トイレ）	5.63
	47	松山水辺公園（トイレ）	9.09
	48	バラ公園（トイレ）	29.77
	49	下方住吉灯明台公園（トイレ）	2.33
	50	大野バスセンター ふれあい公園（観交ステーション・トイレ・駐輪場）	161.34
	51	桜大門ふれあい広場（トイレ）	9.00
	52	黒野ふれあい広場（トイレ）	2.00
	53	条里公園（トイレ）	29.84
	54	うぐいす公園（トイレ）	15.00
	55	黒野駅レールパーク（黒野駅ミュージアム・トイレ）	306.00
	56	松山ふれあい広場（トイレ・東屋）	48.00
	57	上秋ふれあい広場（トイレ）	9.00
公営住宅	58	町営住宅稲富団地	64.10
	59	町営住宅上秋団地	1,697.22
	60	町営住宅中之元北団地	2,379.29
	61	町営住宅中之元南団地	446.30
排水施設	62	下座倉排水機場	36.82
小学校	63	大野小学校	6,718.00
	64	北小学校	4,872.00
	65	西小学校	4,295.00
	66	中小学校	3,633.00
	67	南小学校	4,270.00
	68	東小学校	5,222.90
中学校	69	大野中学校	12,110.00
	70	揖東中学校	5,211.00
社会教育施設	71	大野町総合町民センター	8,506.07
	72	中央公民館	1,036.67
	73	武道館	1,336.64
	74	体育館	1,559.15
	75	民俗資料館	211.60
	76	旧北岡田家住宅	1,210.94

施設類型	No	名称	延べ床面積
社会教育施設	77	旧大野町民宿泊研修所	626.29
	78	東運動場	208.00
	79	運動公園（レインボースタジアム）	20,657.27
	80	第1公民館	789.20
	81	豊木地区農業構造改善センター（第2公民館）	641.00
	82	富秋地区農業構造改善センター（第3公民館）	615.20
	83	西郡地区農村集落多目的施設（第4公民館）	486.00
	84	鶯地区農村集落多目的施設（第5公民館）	485.21
	85	川合地区農村集落多目的施設（第6公民館）	549.28
	86	埋蔵文化財センター	262.98
普通財産施設	87	旧大野町学校給食センター	1,472.00
	88	旧デイサービスセンター	986.91

（5）公共施設マネジメントの実践

（5）-1 公共施設マネジメントが目指すもの

本計画では、総合管理計画の方針に従い、供給（最適な施設量）・品質（安全・安心・快適性の確保）・財政（長期にわたる維持管理費用、更新費用）の3つの視点から、質と量の最適化に取り組むことで、良質なサービスの提供と持続可能なまちづくりの実現の両立を目指していきます。

（5）-2 公共施設マネジメントの考え方（優先順位の考え方）

本計画では、良質なサービスを提供するため、総合管理計画で定められた基本的な考え方や基本方針に基づき、以下の基準で公共施設の方向性（優先順位）を検討することで、質と量の最適化に取り組めます。

人口減少や施設の利用状況の変化・劣化状況等を踏まえ、施設分類の枠組みを越えた統廃合や複合化、多機能化、用途変更を行うことで、町民サービスや利便性をできる限り維持した状態で総量縮小を図ります。

施設を利用する市民の安全性・快適性を第一に考え、老朽化度合いや定期点検の結果に基づいて、緊急性の高い施設を優先して修繕する等、財政負担の平準化を図り施設の維持管理を円滑に進めます。

町内に複数ある施設については、人口の推移を見極めたうえで施設の再配置を検討します。

法律・政令で義務付けられている必要不可欠な業務を行う施設（行政施設、義務教育施設等）の維持を優先します。

必要性の高い施設（機能）は、既存施設の長寿命化や他の施設への機能移転により、機能維持を図ります。

代替機能の確保が難しい施設は、計画的な保全を行い、老朽化している場合は長寿命化のため必要な大規模改修を実施します。

利用率向上のためサービスの充実に努めます。利用率の低い施設は複合化や統廃合を図ります。

更新する場合は、面積縮小や複合施設化を検討し、維持管理上経済的・合理的な施設整備を実施します。

民間活力の導入を見据え、民間委託やPPP/PFI等による施設整備・管理を検討します。

地元自治会や特定の団体等、施設利用者が限定されている施設は、団体への売却、譲渡を検討します。

県や近隣市町と連携し、広域利用を図ります。

耐用年数の残寿命が短い施設や既に経過している施設は、安全性や老朽化に対する課題に優先的に対応することで、施設・設備が使用停止となる事態を防止します。

町民の安全・安心な暮らしを支える公共施設となるよう「適切な維持管理」「維持管理経費の縮減」を図ります。

(6) 再編に関する事項

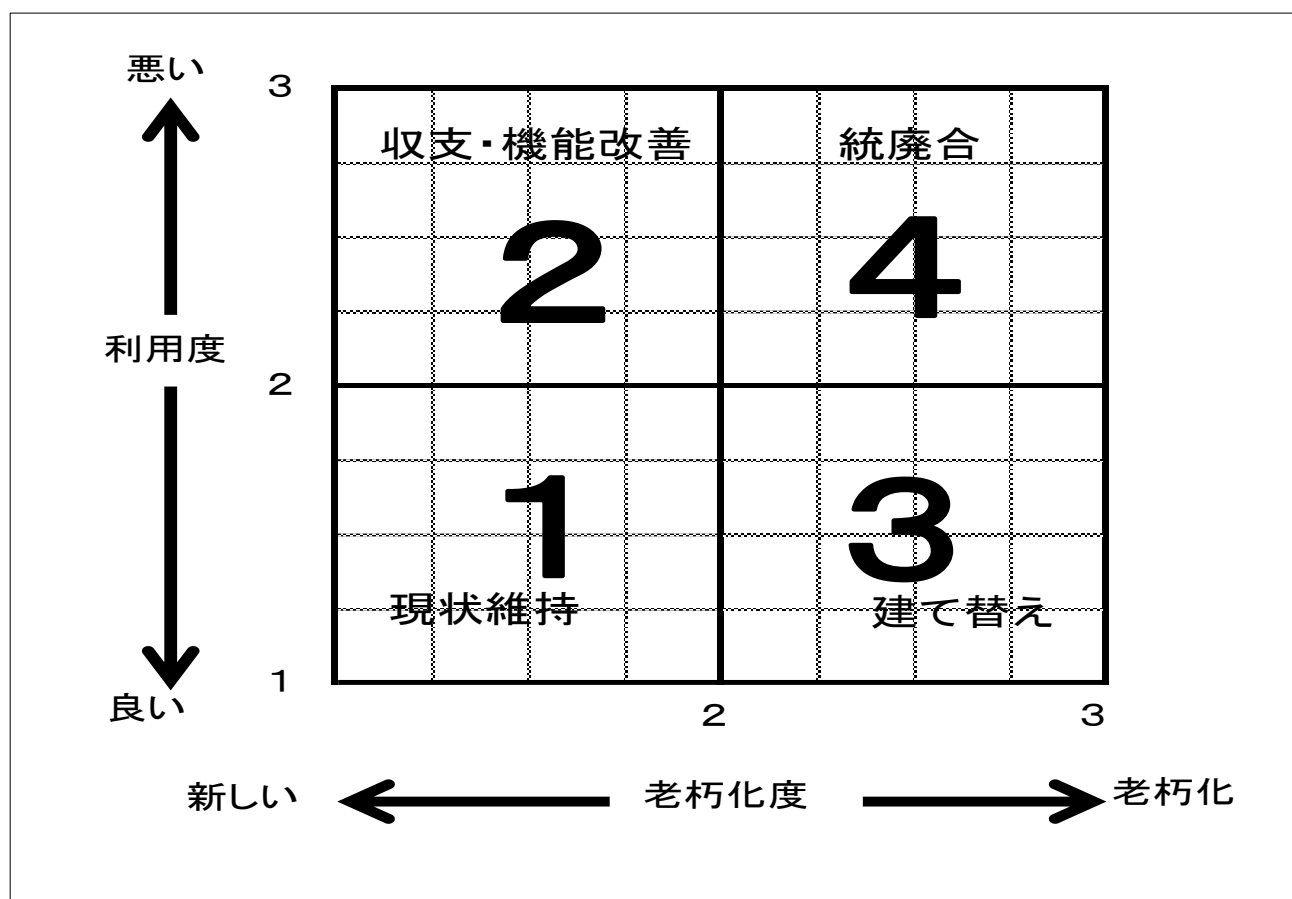
(6) - 1 再編の方向性の検討方法

計画期間内の再編の方向性については、総合管理計画による再編の実施方針に基づいた以下の分類ごとの考え方を基本としながら、施設を機能（ソフト）と建物等（ハード）に分けて評価を行う施設評価を実施し、総合的に検討をします。

なお、今回検討した再編の方向性については、町における現時点の基本的な方向性を示したものであり、実際に再編を検討する際には、この方向性を踏まえ、具体的な実施方法等について関係者等と共に検討・調整を行い進めていきます。

1次評価

1次評価は、各施設ごとに総合施設管理計画において、「現状維持」「収支・機能改善」「建て替え」「統廃合」の4つに分類し評価された結果を記載しました。



2次評価

2次評価は、公共性、有効性、効率性、代替性、特質性結果の5つの区分から、それぞれ「A」、「B」、「C」の3段階で評価しました。

区分	評価	内容
公共性	A：高い B：普通 C：低い	法律等により設置が義務付けられているか
		町民の安全・安心の確保等、町民生活を営む上での必要性は高いか
		町の施策を推進する上での必要性は高いか
		設置目的の異議が低下していないか
		サービス内容が設置目的に即しているか
		利用実態が設置目的に即しているか
有効性	A：高い B：普通 C：低い	利用者数等の見込みはどうか
		利用実態からみた利用圏域はどうか
		施設（敷地・建物）に余裕スペースはないか
効率性	A：高い B：普通 C：低い	民間事業者のノウハウが活用できるか
		支出に対する利用料等の収入の割合はどうか
代替性	A：高い B：普通 C：低い	利用圏域内に民間又は国県による同種のサービスを提供している施設はあるか
		他自治体との広域的な連携が可能か
		民間施設等を活用した利用補助等で対応できるか
特質性	A：高い B：普通 C：低い	歴史的、文化的、象徴的価値のある施設か
		再編の検討にあたり、施設整備に係る国県補助金、起債の償還、施設用地の借地契約期間等による制限はあるか
		施設整備に係る管理・利用団体等からの負担はあるか
		浸水想定区域・土砂災害警戒区域等内に設置されている施設か
		避難所・投票所等に指定されているか

総合評価

1次・2次評価の結果等を踏まえ、以下のとおり計画期間内の再編の方向性を検討しました。

	評価	評価の説明
機能（ソフト）	継続	現在の機能を継続して提供します。（他の公共施設へ機能を移転し、継続して提供する場合を含みます。）
	新規	新たに機能を提供します。
	移譲	現在の機能を民間事業者等へ移譲します。
	廃止	現在の機能を廃止します。（他の公共施設へ機能を統合し、廃止する場合を含みます。）
建物等（ハード）	長寿命化	現在の機能を長期間使用できるように維持し、継続して提供します。
	大規模改修	長寿命化等のため大規模改修を行います。
	建て替え	老朽化等のため建物等を立て替えます。（他の場所へ移転する場合を含みます。）
	統合	他の公共施設へ機能を統合します。
	廃止	現在の機能を廃止します。（建物を解体撤去することを含みます。）
	民間移譲	行政から民間へ施設を委譲します。

（7）本計画の見方（参考）

（7）－1 施設の現況

「第2章各公共施設の方針」に記載している各項目の見方は以下のとおりとなります。

・構造

R C：鉄筋コンクリート造

S R C：鉄筋鉄骨コンクリート造

S 造：鉄骨造

軽鉄造：軽量鉄骨造

P C：プレキャストコンクリート造

C B：コンクリートブロック造

耐震（診断/補強）

新耐震基準（昭和56年）に適合しているかを示した指標。

昭和56年以前に建築した建物については診断実施の有無と耐震が不足する場合は補強の有無を示しています。

昭和57年以後に建築した建物は新耐震基準に適合しているため診断及び補強は「不要」と記載しています。

・直近の定期点検結果

- A：特に措置を要しない
- B：軽微な対応を要するまたは引き続き観察を続ける
- C：精密調査を要する
- D：補修改善を要する
- ：不明

(7) - 2 施設の利用状況及び管理運営に係る経費

・R1年度使用料等

施設利用者が町に対して納付した金額です。指定管理施設は一部を除き指定管理者に納入されます。

・R1年度維持管理に係る経費

維持管理経費には、維持費用と運営費用（保守運営費用、指定管理量等）のほか減価償却費があります。修繕費は修繕箇所によって毎年大きく変化しますが、今後の施設のあり方を検討する判断材料として修繕費も維持費用として掲載しています。

(7) - 3 施設の具体的な方向性

本計画には、それぞれの対策（更新・長寿命化・大規模改修・除却等）に係る経費を記載しています。既に事業計画等により詳細な算定根拠がある場合はその額を記載しておりますが、算出根拠が明らかでない施設については、以下の算定基準により算出しています。

更新・大規模改修

施設分類	更新（建替え）	大規模改修
社会教育施設	40万円/㎡	25万円/㎡
学校教育系、子育て支援施設	33万円/㎡	17万円/㎡
公営住宅	28万円/㎡	17万円/㎡

（総務省の公共施設等更新費用試算ソフトによる）

第2章 各公共施設の方針

1 庁舎施設

1-（1）施設設置の背景と目的

1981年に人口増加による行政需要の増加に対応するため、現在の位置に新庁舎を建設しました。

1-（2）施設を取り巻く現状と課題

庁舎は1981年に竣工しており、建築後38年が経過しています。トイレや配管などの水回りや、雨漏りや外壁の剥離など経年劣化が顕著となっており、安全面や利便性に影響を及ぼすことが近年増えております。また、2018年に耐震補強工事を実施し、長寿命化及び防災機能の強化を図りました。

1-（3）施設の役割

役場庁舎は主に次の機能を有しており、町の行政サービスに関する窓口業務や事務を行い、広く町民の方に利用されています。

① 事務所・窓口機能

町の行政サービスに関する事務を行う執務スペースを有しています。また住民票や戸籍に関する窓口のほか、福祉や産業などあらゆる町の行政サービスの窓口を有しています。

② 議場・会議室機能

町議会の議場、委員会室のほか、行政に関する各種審議会や庁内の会議を行う会議室を有しています。

③ 防災機能

災害が発生した時には、災害に対する応急対策を迅速かつ適切に対処する災害対策本部を設置します。

④ その他

公用車の車庫及び来庁者用の屋外公衆便所を有しています。

1-（4）施設の現況

令和元年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。

建物名	延床面積 ㎡	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
大野町役場庁舎	4,566.62	RC	1981	70	32	済	済	A	B	B	B
公用車車庫	471.00	S造	1981	34	-4	未	不要	B	B	B	B

建物名	延床面積 ₂ m	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
自転車置場（庁舎表）	42.90	S造	1981	34	-4	未	不要	B	B	B	B
自転車置場（庁舎裏）	25.00	S造	1981	34	-4	未	不要	B	B	B	B
屋外トイレ	46.90	S造	1997	34	12	済	不要	B	B	B	B

※定期点検結果については、目視等による。

1 - (5) 点検診断の年間予定

1年間の施設管理スケジュールは概ね以下のとおりです。なお、点検委託業者は入札結果により毎年変わる可能性があるため、漏電等の緊急時連絡先等は別紙で管理をします。

月	点検施設	管理内容
4月	庁舎	
5月	庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 庭木管理業務委託 床清掃（廊下・階段・会議室等）
6月	庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 自動ドア点検
7月	庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 床清掃（廊下・階段・会議室等） ダニ駆除業務委託 花壇の水やり・防除（7～9月）
8月	庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 執務室内カーペット清掃
9月	庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 床清掃（廊下・階段・会議室等） 窓ガラス清掃 自動ドア点検 消防設備点検 上半期表示看板設置料請求 上半期自動販売機設置料請求（紙カップ）
10月	庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽清掃作業（大規模） 古紙回収
11月	庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 床清掃（廊下・階段・会議室等） 照明清掃 電気点検（停電作業1回/3年） 太陽光発電保守点検
12月	庁舎	<ul style="list-style-type: none"> 自動ドア点検 粗大ごみ排出委託 機密文書廃棄

月	点検施設	管理内容
1月	庁舎	
2月	庁舎	
3月	庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・窓ガラス清掃 ・自動ドア点検 ・粗大ごみ排出委託 ・古紙回収 ・下半期表示看板設置料請求 ・下半期自動販売機設置料請求 ・人事異動に伴う諸報告等 ①防火管理者変更（消防署） ②施設内の各部屋における管理者表示変更
契約事務等	庁舎	<ul style="list-style-type: none"> ・施設内清掃（庁舎開庁日） ・一般廃棄物収集運搬（毎週金曜日） ・エレベーター保守点検報告受付（4回/年） ・浄化槽清掃業務委託（年1回） ・浄化槽維持管理業務委託（年1回） ・環境測定業務委託（年1回） ・日常清掃業務（毎月） ・防犯管理業務（毎月） ・ガス警報器賃貸借契約（年1回） ・清掃用品賃貸借契約（年1回） ・自動販売機設置料請求（缶：毎月、1回/3年入札） ・電気料金（1回/3年入札） ・太陽光発電売電収入収納（毎月）

1 - (6) 点検診断の実施状況

法定点検に加え、各項目の点検を1年に一度行い、各部の機能や劣化・損耗の状態をあらかじめ調査し、不良箇所の早期発見を図ります。不良箇所が発見された部分については、修繕の方法を検討し、実施時期を整理します。また、詳細な診断が必要と認められる部分については、専門家による診断を実施します。なお、法定点検や診断の実施状況は以下のとおりです。

区分	点検等名称	周期	施設分類	対象施設名称	
法定点検	建築基準法	エレベーター定期点検	1回/年	庁舎	役場
	電気事業法	電気設備保守点検	1回/年	庁舎	役場
	消防法	町有施設消防用設備点検業務委託	1回/6月	庁舎	役場

区分		点検等名称	周期	施設分類	対象施設名称
法定点検	水道法 建築物衛生法	水質検査等	1回/6月	庁舎	役場
	建築物衛生法	庁舎環境衛生管理業務委託	1回/2月	庁舎	役場
	浄化槽法	浄化槽維持管理 浄化槽清掃	1回/年	庁舎	役場
	フロン排出 抑制法	フロン類等使用機器定期点検	1回/年	庁舎	役場
自主点検	専門業者	自動ドア保守点検	1回/年	庁舎	役場

1－(7) 管理運営費の状況

令和元年度の管理運営費の状況は以下のとおりです。

分類	施設名	R1年度 使用料等収入（千円）	R1年度維持管理等支出（千円）			収支（千円）
			維持費用	運営費用	合計	
庁舎	役場	1,352	42,702	6,888	49,590	△48,238
	車庫	-	-	-	-	-
	屋外トイレ	-	0	308	308	△308

1－(8) 利用状況

平成29年度から令和元年度までの3年間の利用状況は以下のとおりです。

分類	施設名	種別	H29	H30	R1	R1-H29 増減率
庁舎	役場	職員数	151	154	154	2.0
	車庫					
	屋外トイレ					

1 - (9) 役場庁舎の大規模修繕履歴

大規模修繕等の履歴について、施設管理台帳として記録します。令和元年度末時点における大規模修繕履歴等は下表のとおりです。

実施年	工事名	修繕費用（円）
2002年3月31日	庁舎屋外時計設置工事	827,400
2002年3月31日	大規模改修Ⅰ期工事（13年度）	40,000,000
2002年3月31日	大規模改修Ⅱ期工事（13年度）	17,882,000
2002年5月15日	大規模改修Ⅰ期工事（14年度）	6,515,000
2002年5月15日	大規模改修Ⅱ期工事	22,543,000
2002年5月15日	庁舎3階天井改修	1,205,085
2004年3月31日	喫煙室設置工事	1,292,550
2006年3月31日	宿直室浴室改修工事	777,000
2006年8月2日	パーティション設置工事	2,079,000
2007年6月29日	放送室空調機設置工事	504,000
2009年1月29日	議場改修工事	3,592,050
2009年3月23日	やすらぎの森トイレセンサー設置工事	294,000
2009年3月31日	空調用膨張タンク更新工事	577,500
2010年9月15日	庁舎内トイレ改修工事	2,096,850
2011年2月15日	J-ALERT 整備工事	4,042,500
2011年3月29日	玄関ロビー照明等改修	427,900
2012年3月30日	庁舎空調改修工事（Ⅰ期）	40,425,000
2012年3月30日	庁舎1階事務室照明改修工事	2,159,800
2012年3月30日	庁舎相談室パーティション設置工事	800,500
2012年3月30日	庁舎トイレセンサースイッチ取付工事	371,700
2013年3月14日	庁舎2・3階事務室照明改修工事	2,782,500
2013年3月28日	庁舎空調改修工事（Ⅱ・Ⅲ期）	84,525,000
2013年3月28日	庁舎太陽光発電設備等工事	48,804,000
2013年3月28日	庁舎空調設計・監理委託	1,029,000
2013年3月28日	庁舎太陽光発電設備等設計・監理委託	2,992,500
2013年3月29日	庁舎機械室改修工事	1,039,500

実施年	工事名	修繕費用（円）
2014年1月15日	非常用自家発電装置更新工事	15,585,150
2014年2月12日	庁舎宿直室等改修設計・監理委託	383,250
2014年2月21日	宿直室等改修工事	9,084,600
2014年3月26日	消防用設備（誘導灯）更新工事	1,249,500
2014年7月16日	庁舎等改修工事（懸垂幕昇降装置設置）	1,188,000
2014年11月26日	庁舎照明（LED型）等更新工事	905,040
2015年10月30日	庁舎合併浄化槽修繕工事	3,348,000
2015年10月30日	庁舎1階トイレ自動ドア修繕工事	464,400
2016年1月29日	庁舎等駐車場区画線修繕工事	594,000
2016年1月29日	庁舎雨漏り修繕工事	918,000
2017年2月10日	本庁舎老朽箇所修繕工事	1,294,920
2017年9月30日	野外トイレ中継ポンプ取替修繕	289,440
2018年1月19日	大野町役場外灯塗装工事	384,480
2018年1月31日	職員通用口ドア修繕工事	1,207,440
2018年3月20日	本庁舎鳥害（進入防止）対策修繕事業	1,080,000
2018年8月31日	庁舎大会議室スクリーン設置工事	328,320
2018年9月30日	大野町役場庁舎防排煙制御設備修繕	464,400
2018年10月31日	庁舎ペントハウス改修工事	896,400
2018年11月30日	大野町役場高圧受変電設備修繕工事	2,235,600
2019年1月31日	大野町役場庁舎1階男子トイレ（小便器）修繕工事	449,280
2019年3月8日	大野町役場 掲示板取替工事	756,000
2019年3月20日	庁舎北側通路側溝維持修繕工事	4,028,400
2019年3月26日	本庁舎耐震補強工事	216,000,000
2019年7月3日	防鳥対策工事	324,000
2019年11月1日	庁舎外壁緊急修繕工事	4,961,000
2020年3月9日	庁舎室外機圧縮機緊急修繕工事	731,500

1 - (10) 対策費用の見通し

対象施設における今後の対策費用について、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件単価で試算した結果や過去の修繕費用等を元に算出しました。

なお、対策費用はいずれも本計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や今後の災害時の発生状況、社会情勢の変化により、費用の見通しに変動が生じる場合があります。

今後10年間における修繕更新費用の見込み

(単位:千円)

施設名	短期修繕更新予想費用 (1年~3年)	中長期修繕更新予想費用 (4年から10年)	合計
庁舎	6,000	14,000	20,000
屋外トイレ	-	850	850
車庫	-	-	-
合計	6,000	14,850	20,850

修繕等の予定

年度	修繕箇所等	更新費用	備考
令和3年度	高圧受電設備	150万円	変圧器更新
令和4年度	外壁調査	50万円	西側のみ
令和4年度	トイレ修繕	150万円	1階女子トイレバリアフリー工事
令和5年度	自家発電装置	100万円	バッテリー交換
令和5年度	防火シャッター		床設置面を鋼製からゴム製に交換(挟まれ事故防止)

1 - (11) 管理運営費等の見通し

過去3年間の実績値等を元に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは、以下のとおりです。

施設名	管理運営費等(千円)		
	2021(R3)~2025(R7)		
	歳出	歳入	実質負担額
役場	248,000	6,700	241,300
車庫	0	0	0
屋外トイレ	1,600	0	1,600
合計	249,600	6,700	242,900

1 - (12) 施設の評価結果

再編の方向性の検討方法に基づいた施設の評価結果は次のとおりです。

No	施設名	管理運営方式	1次評価	2次評価					総合評価	
				公共性	有効性	効率性	代替性	特質性	機能	建物
1	役場	直	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
1	車庫	直	建て替え	B	B	B	B	B	維持	長寿命化
1	屋外トイレ	直	建て替え	B	B	B	B	B	維持	長寿命化

1 - (13) 施設の再編等スケジュール

総合管理計画 における課題 認識	① 大規模修繕・建て替えの検討をします。 ② 水回りや給排水設備、電気設備等の更新を検討します。 ③ 収支データを分析し、維持管理料や貸付料を中心に検討を行います。								
No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)					
				R3	R4	R5	R6	R7	
1	役場	現状維持	長寿命化	電気設備更新	自家発電設備等更新	給排水設備更新	電気設備更新	給排水設備更新	
				2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	
				電気停電点検			電気停電点検		
庁舎については、2018年に耐震補強工事を実施し、長寿命化を図っており、維持保全を基本として管理していきます。また車庫及び屋外トイレについても、大きな不良箇所はなく、維持保全を基本として管理していきます。									
1	車庫	維持	長寿命化	-	-	-	-	-	
				-	-	-	-	-	
				-	-	-	-	-	
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。									
1	屋外トイレ	現状維持	長寿命化	-	-	-	-	-	
				-	-	-	-	-	
				-	-	-	-	-	
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。									

2 消防施設

2-（1）施設設置の背景と目的

大野町における消防施設は学校区ごとに設置されており、消防第1分団車庫、消防第2分団車庫、消防第3分団車庫、消防第4分団車庫、消防第5分団コミュニティ消防センター、消防第6分団車庫が設置されています。

2-（2）施設を取り巻く現状と課題

全ての施設が新耐震基準による建築が行われていますが、更新時期となっており、計画的な大規模修繕等を行う必要があります。また、車両の大型化に伴う増築の検討を行う必要があり、令和3年度より計画的に順次施設の更新を行う必要があります。

なお、配置バランスは概ね妥当であり、防災の視点から考慮すると、再配置・統廃合の検討は特に必要ありません。

2-（3）施設の役割

地域における消防の防災拠点として活用し、消防車両や防災備蓄品などの防災用品を配置しています。

2-（4）施設の現況

令和元年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。

建物名	延床面積 ㎡	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
消防第1分団車庫	65.00	S造	1993	34	8	未	不要	—	—	—	—
消防第2分団車庫	55.00	S造	1994	34	9	未	不要	—	—	—	—
消防第3分団車庫	50.00	S造	1988	34	3	未	不要	—	—	—	—
消防第4分団車庫	60.00	S造	1997	34	12	未	不要	—	—	—	—
消防第5分団コミュニティ消防センター	60.30	S造	1997	34	12	未	不要	—	—	—	—
消防第6分団車庫	55.00	S造	1989	34	4	未	不要	—	—	—	—

2- (5) 管理運営費の状況

令和元年度における管理運営費の状況は以下のとおりです。

施設名	R1年度 使用料等収 入（千円）	R1年度維持管理等支出（千円）			収支（千円）
		維持費用	運営費用	合計	
消防第1分団車庫	0	138	86	224	-224
消防第2分団車庫	0	99	86	185	-185
消防第3分団車庫	0	89	86	175	-175
消防第4分団車庫	0	107	86	193	-193
消防第5分団コミュニ ティー消防センター	0	108	86	194	-194
消防第6分団車庫	0	98	86	184	-184

2- (6) 利用状況

平成29年度から令和元年度までの3年間の利用状況は以下のとおりです。

施設名	種別	H29	H30	R1	R1-H29 増減率
消防第1分団車庫	団員数	25	25	25	0
消防第2分団車庫		25	25	25	0
消防第3分団車庫		20	20	20	0
消防第4分団車庫		20	20	20	0
消防第5分団コミュニ ティー消防セン ター		20	20	20	0
消防第6分団車庫		20	20	20	0

2- (7) 大規模修繕履歴

大規模修繕等の履歴について、今後は施設管理台帳として記録していきますが、令和元年度末時点で各分団車庫における大規模修繕履歴は特にありません。

2- (8) 対策費用の見通し

対象施設における今後の対策費用について、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件単価で試算した結果や過去の修繕費用等を元に算出しました。

なお、対策費用はいずれも本計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や今後の災害時の発生状況、社会情勢の変化により、費用の見通しに変動が生じる場合があります。

今後10年間における修繕更新費用の見込み

(単位：千円)

施設名	短期修繕更新予想費用（1年～3年）	中長期修繕更新予想費用（4年から10年）	合計
消防第1分団車庫	0	16,500	16,500
消防第2分団車庫	0	16,500	16,500
消防第3分団車庫	16,500	0	16,500
消防第4分団車庫	0	16,500	16,500
消防第5分団コミュニティ消防センター	0	16,500	16,500
消防第6分団車庫	16,500	0	16,500
合計	33,000	66,000	99,000

2- (9) 管理運営費等の見通し

過去の実績値等を元に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは、以下のとおりです。

施設名	管理運営費等（千円）		
	2021(R3)～2025(R7)		
	歳出	歳入	実質負担額
消防第1分団車庫	1,120	0	1,120
消防第2分団車庫	925	0	925
消防第3分団車庫	875	0	875
消防第4分団車庫	965	0	965
消防第5分団コミュニティ消防センター	970	0	970
消防第6分団車庫	920	0	920
合計	5,775	0	5,775

2-(10) 施設の評価結果

再編の方向性の検討方法に基づいた施設の評価結果は次のとおりです。

施設名	管理運営方式	1次評価	2次評価					総合評価	
			公共性	有効性	効率性	代替性	特質性	機能	建物
消防第1分団車庫	直	建て替え	A	B	C	C	A	維持	建て替え
消防第2分団車庫	直	建て替え	A	B	C	C	A	維持	建て替え
消防第3分団車庫	直	建て替え	A	B	C	C	A	維持	建て替え
消防第4分団車庫	直	建て替え	A	B	C	C	A	維持	建て替え
消防第5分団コミュニティ消防センター	直	建て替え	A	B	C	C	A	維持	建て替え
消防第6分団車庫	直	建て替え	A	B	C	C	A	維持	建て替え

2-(11) 施設の再編等スケジュール

総合管理計画における課題認識		① 更新時期となっていることから大規模修繕の検討をします。 ② 車両の大型化に伴う増築の検討をします。						
No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
1	消防第1分団車庫	現状維持	建て替え(R7)	-	-	-	更新検討	工事実施
				-	-	-	-	16,500
				-	-	-	-	-
更新時期が到来しているため、建物の更新等を検討します。								
2	消防第2分団車庫	現状維持	建て替え(R9)	-	-	-	-	更新検討
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
更新時期が到来しているため、建物の更新等を検討します。								
3	消防第3分団車庫	現状維持	建て替え(R3)	工事実施	-	-	-	-
				16,500	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
更新時期が到来しているため、建物の更新等を検討します。								

No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
4	消防第4分 団車庫	現状 維持	建て替え (R11)	-	-	-	-	更新検討
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
更新時期がR11年に到来するため、建物の更新等を検討します。								
5	消防第5分 団コミュニテ ィー消防セン ター	現状 維持	建て替え (R11)	-	-	-	-	更新検討
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
更新時期が到来しているため、建物の更新等を検討します。								
6	消防第6分 団車庫	現状 維持	建て替え (R5)	-	更新検討	工事実施	-	-
				-	-	16,500	-	-
				-	-	-	-	-
更新時期が到来しているため、建物の更新等を検討します。								

3 児童福祉施設

3-（1）施設設置の背景と目的

認定こども園は、1970年代に人口の増加による保育需要の増加に対応するため、現在の位置に保育所として建設されました。平成31年4月1日に子どもの健やかな成長のために適切な環境が等しく確保されるよう、小学校就学前の子どもに対する教育及び保育並びに保護者に対する子育て支援を行うため、認定こども園に移行しました。

また、旧北こども園は年少人口の減少と建物の老朽化により、令和2年3月31日に閉園しました。

平成8年に子どもの通所施設としてことばの教室を建設し、その後、制度改正を経て平成26年度より幼児療育センターにおいて児童発達支援事業所として運営しております。

子育て支援施設は、道の駅「パレットピアおおの」に併設する形で、子育て親子の交流の場の提供と交流促進等を推進する施設として、平成30年3月に建設しました。

3-（2）施設を取り巻く現状と課題

公立認定こども園は、1970年代に建設され築45年前後が経過しており、水道漏水や雨漏りなど老朽化が著しく、修繕費用が増加傾向となっています。建物は耐用年数に迫っており、今後の人口減少を踏まえ、統廃合等の検討をする必要があります。

幼児療育センターと子育て支援施設については、竣工間もない施設のため、施設に関する問題は特にありません。

3-（3）施設の役割

児童福祉施設は主に次の機能を有しており、町の児童福祉サービスに関する業務や事務を行い、広く町民の方に利用されています。

① 認定こども園機能

・保護者の就労に関わらず児童福祉法に基づき家庭の保護者に代わって保育することを目的とした施設です。町内には公立2園、私立5園が設置されています。

② 幼児療育センター機能

・ことばや身体、情緒などが未発達である児童に対し、日常生活における基本的動作の指導、集団生活への適応性を身につけさせるために設置された施設です。

③ 子育て支援施設機能

・家庭や地域における子育て機能の低下や子育て中の親の孤独感や不安感の増大等に対応し、地域の子育て支援機能の充実と子どもの健やかな育ちを支援することを目的として設置された施設です。

3-(4) 施設の現況

令和元年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。

建物名	延床面積 ² m	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
西こども園	1,346.93	RC	1977	47	5	H22	H23	—	—	—	—
南こども園	1,014.50	RC	1978	47	6	不明	H17	—	—	—	—
旧ことばの教室	131.00	S造	1996	47	24	不要	不要	—	—	—	—
幼児療育センター なないろ	647.93	木造	2014	38	33	不要	不要	—	—	—	—
子育てはうす ぱ すてる	357.00	木造	2018	38	37	不要	不要	—	—	—	—

3-(5) 点検診断の年間予定

1年間の施設管理スケジュールは概ね以下のとおりです。なお、点検委託業者は入札結果により毎年変わる可能性があるため、漏電等の緊急時連絡先等は別紙で管理をします。

① 認定こども園

月	点検施設	管理内容
4月	認定こども園	<ul style="list-style-type: none"> 人事異動に伴う諸報告等 ①防火管理者変更（消防署） ②施設内の各部屋における管理者表示変更 防除
5月	認定こども園	<ul style="list-style-type: none"> ダムウェーター保守点検
6月	認定こども園	<ul style="list-style-type: none"> 防除 空調設備保守点検 そ族昆虫駆除業務
7月	認定こども園	<ul style="list-style-type: none"> 防除 遊具保守点検
8月	認定こども園	<ul style="list-style-type: none"> 清掃業務（床・ガラス）
9月	認定こども園	<ul style="list-style-type: none"> 防除 ダムウェーター保守点検 消防設備点検

月	点検施設	管理内容
10月	認定こども園	<ul style="list-style-type: none"> 浄化槽清掃作業 そ族昆虫駆除業務
11月	認定こども園	
12月	認定こども園	<ul style="list-style-type: none"> 空調設備保守点検
1月	認定こども園	<ul style="list-style-type: none"> 剪定 ダムウェーター保守点検 遊具保守点検
2月	認定こども園	<ul style="list-style-type: none"> そ族昆虫駆除業務
3月	認定こども園	
その他点検業務・契約事務等	認定こども園	<ul style="list-style-type: none"> 非常通報装置保守点検（毎月） 消防設備保守点検 電気工作物保安管理 一般廃棄物収集運搬（毎週金曜日） 浄化槽清掃業務（年1回） 浄化槽維持管理業務（年1回） 防犯管理業務（通年） 電力デマンド監視業務（通年） ガス警報器賃貸借（通年） 清掃用具賃貸借（通年） AED賃貸借（通年） 電気料金（1回/3年入札）

② 幼児療育センター

月	点検施設	管理内容
4月	幼児療育センター	<ul style="list-style-type: none"> 人事異動に伴う諸報告等 ① 防火管理者変更（消防署） ② 施設内の各部屋における管理者表示変更
5月	幼児療育センター	<ul style="list-style-type: none"> 庭木管理業務委託
6月	幼児療育センター	<ul style="list-style-type: none"> 空調設備保守点検 消防設備点検 庭木管理業務委託 そ族昆虫駆除業務委託 自動ドア点検
7月	幼児療育センター	<ul style="list-style-type: none"> 遊具保守点検

月	点検施設	管理内容
8月	幼児療育センター	・窓・床・執務室内カーペット清掃
9月	幼児療育センター	・消防設備点検 ・庭木管理業務委託
10月	幼児療育センター	・浄化槽清掃作業 ・庭木管理業務委託 ・そ族昆虫駆除業務委託
11月	幼児療育センター	・電気保安業務委託
12月	幼児療育センター	
1月	幼児療育センター	
2月	幼児療育センター	
3月	幼児療育センター	・そ族昆虫駆除業務委託
その他点検業務・契約事務等	幼児療育センター	・非常通報装置保守点検（毎月） ・防犯管理業務（毎月） ・自動ドア点検 ・清掃用品賃貸借契約（年1回） ・太陽光発電売電収入収納（毎月） ・AED賃貸借（通年） ・一般廃棄物収集運搬（金曜日） ・浄化槽維持管理業務（通年）

③ 子育て支援施設

月	点検施設	管理内容
4月	子育て支援施設	・人事異動に伴う諸報告等 ① 防火管理者変更（消防署）
5月	子育て支援施設	・空調設備保守点検 ・浄化槽清掃作業（観光企業誘致課契約）
6月	子育て支援施設	・そ族昆虫駆除業務委託
7月	子育て支援施設	・遊具保守点検 ・浄化槽清掃作業（観光企業誘致課契約）
8月	子育て支援施設	・消防設備点検 ・自動ドア点検
9月	子育て支援施設	・施設内清掃（床・ガラス・高所ファン等） ・浄化槽清掃作業（観光企業誘致課契約）
10月	子育て支援施設	・そ族昆虫駆除業務委託
11月	子育て支援施設	・浄化槽清掃作業（観光企業誘致課契約）
12月	子育て支援施設	

月	点検施設	管理内容
1月	子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"> 消防設備点検 遊具保守点検 浄化槽清掃作業（観光企業誘致課契約）
2月	子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"> 自動ドア点検 浄化槽法定検査（観光企業誘致課契約）
3月	子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"> そ族昆虫駆除業務委託 浄化槽清掃作業（観光企業誘致課契約）
その他点検業務・契約事務等	子育て支援施設	<ul style="list-style-type: none"> 防犯管理業務（毎月） 清掃用品賃貸借契約（年1回） AED賃貸借（通年） 浄化槽維持管理業務（通年）（観光企業誘致課契約）

3-（6）点検診断の実施状況

法定点検に加え、各項目の点検を1年に一度行い、各部の機能や劣化・損耗の状態をあらかじめ調査し、不良箇所の早期発見を図ります。不良箇所が発見された部分については、修繕の方法を検討し、実施時期を整理します。また、詳細な診断が必要と認められる部分については、専門家による診断を実施します。なお、法定点検や診断の実施状況は以下のとおりです。

① 認定こども園

区分	点検等名称	周期	施設分類	対象施設名称	
法定点検	建築基準法	ダムウェーター定期点検	3回/年	児童福祉施設	認定こども園
	電気事業法	電気工作物保安管理	1回/年	児童福祉施設	認定こども園
	消防法	消防設備保守点検	1回/6月	児童福祉施設	認定こども園
	消防法	非常通報装置保守点検	毎月	児童福祉施設	認定こども園
	浄化槽法	浄化槽維持管理 浄化槽清掃	1回/年	児童福祉施設	認定こども園
	フロン排出抑制法	空調設備保守点検	2回/年	児童福祉施設	認定こども園
自主点検	専門業者	遊具保守点検	2回/年	児童福祉施設	認定こども園

② 幼児療育センター

区分		点検等名称	周期	施設分類	対象施設名称
法定 点検	電気事業法	電気設備保守点検	1回/年	児童福祉施設	幼児療育センター
	消防法	消防設備保守点検	1回/6月	児童福祉施設	幼児療育センター
	消防法	非常通報装置保守点検	毎月	児童福祉施設	幼児療育センター
	フロン排出抑制法	空調設備保守点検	2回/年	児童福祉施設	幼児療育センター
	浄化槽法	浄化槽維持管理 浄化槽清掃	1回/年	児童福祉施設	幼児療育センター
自主 点検	専門業者	自動ドア保守点検	1回/年	児童福祉施設	幼児療育センター
	専門業者	遊具保守点検	2回/年	児童福祉施設	幼児療育センター

③ 子育て支援施設

区分		点検等名称	周期	施設分類	対象施設名称
法定点検	消防法	消防用設備点検業務委託	1回/6月	児童福祉施設	子育て支援施設
	浄化槽法	浄化槽法定検査 浄化槽維持管理 浄化槽清掃	1回/年 通年 1回/2月	児童福祉施設	子育て支援施設
	フロン排出抑制法	空調設備保守点検	2回/年	児童福祉施設	子育て支援施設
自主点検	専門業者	自動ドア保守点検	1回/6月	児童福祉施設	子育て支援施設
	専門業者	遊具保守点検	2回/年	児童福祉施設	子育て支援施設

3- (7) 管理運営費の状況

令和元年度における管理運営費の状況は以下のとおりです。

施設名	R1年度 使用料等収 入(千円)	R1年度維持管理等 支出(千円)			収支(千円)
		維持費用	運営費用	合計	
西こども園	6,161	1,636	1,310	2,946	3,215
南こども園	8,491	2,142	1,630	3,772	4,719
旧ことばの教室	—	—	—	—	—
幼児療育センターなないろ	27,355	2,828	23,357	26,185	1,170
子育てはうす ぱすてる	1,450	761	22	783	1,450

3- (8) 利用状況

平成29年度から令和元年度までの3年間の利用状況は以下のとおりです。

施設名	種別	H29	H30	R1	R1-H29 増減率
西こども園	園児数	80	75	60	△20
南こども園	園児数	86	71	74	△12
旧ことばの教室	利用者数	—	—	—	—
幼児療育センター なないろ	登録者数	86	79	85	△1.1
子育てはうす ぱすてる	利用者数	—	72,300	57,605	△20.3

3- (9) 児童福祉施設の大規模修繕履歴

大規模修繕等の履歴について、施設管理台帳として記録します。令和元年度末時点における大規模修繕履歴等は下表のとおりです。

① 認定こども園

実施年	工事名	修繕費用(円)
2005年	南保育園耐震補強工事	
2010年11月30日	南保育園防水工事	8,767,500
実施年	工事名	修繕費用(円)
2011年3月18日	南保育園保育設備改修工事	2,289,000

2011年10月31日	西保育園耐震補強工事	7,583,000
2012年3月2日	保育園非常通報装置改修工事	1,890,000
2012年7月20日	保育園エアコン設置工事	6,195,000
2013年7月31日	保育園エアコン設置工事	4,546,500
2015年8月31日	低年齢児用遊具設置工事	4,336,200
2017年2月28日	公立保育園給食室増築改修工事	24,405,000
2017年9月19日	公立保育園ガラス飛散防止フィルム設置工事	5,272,560

3-(10) 対策費用の見通し

対象施設における今後の対策費用について、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件単価で試算した結果や過去の修繕費用等を元に算出しました。

なお、対策費用はいずれも本計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や今後の災害時の発生状況、社会情勢の変化により、費用の見通しに変動が生じる場合があります。

今後10年間における修繕更新費用の見込み

(単位：千円)

施設名	短期修繕更新予想費用 (1年～3年)	中長期修繕更新予想費用 (4年から10年)	合計
西こども園	1,800	4,200	6,000
南こども園	1,800	4,200	6,000
旧ことばの教室	150	350	500
幼児療育センターなないろ	600	1,400	2,000
子育てはうす ぱすてる	150	350	500
合計	4,500	10,500	15,000

3- (11) 管理運営費等の見通し

過去の実績値等を元に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは、以下のとおりです。

施設名	管理運営費等（千円）		
	2021(R3)~2025(R7)		
	歳出	歳入	実質負担額
西こども園	14,735	3,500	11,235
南こども園	18,860	3,500	15,360
旧ことばの教室	300	0	300
幼児療育センターなないろ	26,097	136,626	△110,529
子育てはうす ぱすてる	3,915	7,250	△3,335
合計	63,907	150,876	△86,969

3- (12) 施設の評価結果

再編の方向性の検討方法に基づいた施設の評価結果は次のとおりです。

施設名	管理運営方式	1次評価	2次評価					総合評価	
			公共性	有効性	効率性	代替性	特質性	機能	建物
西こども園	直	建て替え	A	B	B	B	B	統合	廃止
南こども園	直	建て替え	A	A	B	B	B	継続	建て替え
旧北こども園	直	閉園	B	B	B	B	B	廃止	廃止
旧ことばの教室	直	建て替え	B	B	B	B	B	変更	長寿命化
幼児療育センターなないろ	直	現状維持	B	B	B	B	A	維持	長寿命化
子育てはうす ぱすてる	直	現状維持	B	B	B	B	B	維持	長寿命化

3- (13) 施設の再編等スケジュール

総合管理計画における課題認識				① 認定こども園は、更新時期となっていることや年少人口の減少傾向を踏まえ、更新又は統廃合の検討と併せて、民間施設との統合や民間移譲も視野に入れたうえでの検討をします。 ② 幼児療育センターは、収支データを分析し、適正な費用計上を検証します。 ③ 児童館は、廃止することを決定します。 ④ 旧ことばの教室は相談場所として利用することや、児童館の取壊しを検討します。				
No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
1	西こども園	統合	廃止	検討委員会	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
建物の老朽化に伴い集約化、公立認定こども園の統廃合を検討していきます。								
2	南こども園	継続	建替	基本構想策定	説明会	実施設計	建替工事	
				3,520	-	23,054	500,000	
				-	-	-	-	-
建物の老朽化に伴い集約化、公立認定こども園の統廃合を検討していきます。								
3	旧北こども園	廃止	廃止	解体工事	-	-	-	-
				34,120	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
施設の機能の廃止を行い、建物については取り壊し、土地については利活用の方法について検討していきます。								
4	旧ことばの教室	変更	長寿命化	地域による活用	-	-	-	-
				60	60	60	60	60
				-	-	-	-	-
地域のコミュニティ施設として活用します								
5	幼児療育センターなないろ	維持	長寿命化	-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								

No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
6	子育てはう すばすて る	維持	長寿命 化	-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
修繕箇所の早期発見など、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								

4 保健・福祉施設

4-（1）施設設置の背景と目的

保健センターは、1996年に、町民に対する健康相談、保健指導及び健康診査、その他地域保健に関する必要な事業を行うことを目的に建設されました。

福祉センターは、1981年に、高齢者、障がい者等町民の福祉増進を図り、ボランティア団体等福祉団体の活動及び町民の福祉活動の場を供与する目的で建設されました。

4-（2）施設を取り巻く現状と課題

保健センターは、福祉センターに増築する形で建設され、建築後24年が経過しています。近年、経年劣化による増築箇所付近における雨漏りが顕著となってきており、特に衛生面において細心の配慮が必要とされる当施設において、早急に対策を講じることが必要となってきています。

福祉センターは、1981年に竣工しており、建築後39年が経過しています。2013年度に大規模修繕工事を実施して、長寿命化を図りました。また、新耐震基準による建築が行われており、施設構造については特に問題はありません。

4-（3）施設の役割

保健センターは、健康相談、保健指導及び健康診査、その他地域保健に関する必要な事業を行っており、また、福祉センターは、町民の福祉活動の場及びボランティア団体等福祉団体の活動の場として、広く町民の方に利用されています。

4-（4）施設の現況

令和元年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。

建物名	延床面積 m ²	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
保健センター	219.72	RC	1996	47	24	済	不要	-	-	-	-
福祉センター	992.50	RC	1981	47	9	済	不要	-	-	-	-

4-（5）管理運営費の状況

令和元年度における管理運営費の状況は以下のとおりです。

施設名	R1年度 使用料等収入（千円）	R1年度維持管理等支出（千円）			収支（千円）
		維持費用	運営費用	合計	
保健センター	84	9,445	1,029	10,474	△10,390
福祉センター					

4－（6）利用状況

平成29年度から令和元年度までの3年間の利用状況は以下のとおりです。

施設名	種別	H29	H30	R1	R1-H29 増減率
保健センター	職員数	4	4	5	25.0
福祉センター	利用者数	17,628	16,925	13,831	△21.5

4－（7）保健センター・福祉センターの大規模修繕履歴

大規模修繕等の履歴について、施設管理台帳として記録します。令和元年度末時点における大規模修繕履歴等は下表のとおりです。

実施年	工事名	修繕費用（円）
2002年8月	浄化槽水中ブロウ取替修繕	609,210
2004年1月	ホール照明取替修繕	344,400
2006年3月	浄化槽漏水修繕及びエアー配管取替	1,496,250
2006年10月	地域包括支援センター事務室空調設置工事	630,000
2007年9月	屋上防水修繕工事	10,444,350
2008年1月	屋外階段修繕工事	609,000
2008年7月	外壁改修工事	6,663,000
2008年10月	ボイラー取替工事	1,190,700
2011年1月	空調設備修繕工事	472,500
2011年2月	浄化槽修繕工事	294,000
2011年7月	室内機熱交換器洗浄	252,000
2012年1月	給水管布設工事	1,008,000
2012年8月	2階遮熱フィルム・クロス・暗幕修繕	735,000
2012年12月	ガラス入れ替え修繕工事	315,000
2013年3月	事務室等修繕工事	3,116,400
2013年6月	浄化槽修繕工事	661,500

実施年	工事名	修繕費用（円）
2014年2月	老人福祉センター改修（建築）工事	43,498,350
2014年2月	老人福祉センター改修（電気）工事	11,236,050
2014年2月	老人福祉センター改修（設備）工事	27,250,650
2013年7月	浄化槽修繕工事	661,500
2017年3月	昇降機部品交換	290,520
2018年9月	ホール照明機器修繕工事	918,000
2019年8月	浄化槽改修工事	4,860,000

4－（8）対策費用の見通し

対象施設における今後の対策費用について、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件単価で試算した結果や過去の修繕費用等を元に算出しました。

なお、対策費用はいずれも本計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や今後の災害時の発生状況、社会情勢の変化により、費用の見通しに変動が生じる場合があります。

今後10年間における修繕更新費用の見込み

（単位：千円）

施設名	短期修繕更新予想費用 （1年～3年）	中長期修繕更新予想費用 （4年から10年）	合計
保健センター	1,500	3,500	5,000
福祉センター			
合計	1,500	3,500	5,000

4－（9）管理運営費等の見通し

過去の実績値等を元に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは、以下のとおりです。

施設名	管理運営費等（千円）		
	2021(R3)～2025(R7)		
	歳出	歳入	実質負担額
保健センター	19,230	450	18,780
福祉センター			
合計	19,230	450	18,780

4- (10) 施設の評価結果

再編の方向性の検討方法に基づいた施設の評価結果は次のとおりです。

施設名	管理運営方式	1次評価	2次評価					総合評価	
			公共性	有効性	効率性	代替性	特質性	機能	建物
保健センター	直	現状維持	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
福祉センター	直	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化

4- (12) 施設の再編等スケジュール

総合管理計画における課題認識		① 計画的な予防保全措置による長寿命化を推進し、財政負担の平準化を進めます。 ② 物の大規模修繕に係る費用を平準化するため、複数年にわたる調査・分析を実施し、施設の利用状況も考慮した長寿命化工事を検討します。							
No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)					
				R3	R4	R5	R6	R7	
1	福祉センター	維持	長寿命化	電気設備修繕	各設備修繕	各設備修繕	各設備修繕	各設備修繕	
				500	500	500	500	500	
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。									
2	保健センター	維持	長寿命化	(福祉センターに含む)					
				大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。					

5 衛生施設

5-（1）施設設置の背景と目的

ごみ処理については、主としてステーション方式により実施しており、衛生的な集積場の整備として、間伐材を使用したごみ集積場を整備しました。生ごみ等は西濃環境整備組合にて焼却処理し、粗大ごみについては町不燃物処理場にて分別し、可燃物は西濃環境整備組合で、不燃物は県外の最終処分場で埋立処分を行っています。

5-（2）施設を取り巻く現状と課題

分別の意識向上及び排出責任の明確化、ごみ排出量の公平負担を目的とした粗大ごみ有料化に併せ、廃棄物の排出抑制、資源化のためのペットボトル等のリサイクルを推進する取組をしていますが、ごみ減量化は進んでいないのが現状であり、更なるごみの減化、再資源化を推進する必要があります。

5-（3）施設の役割

通常のごみ処理のほか不法投棄、災害等により排出されるごみ処理に対応するため、適正に維持管理するとともに、資源循環型社会の形成を担っていきます。

5-（4）施設の現況

令和元年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。

建物名	延床面積 ² m	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
廃棄物処理場	363.23	軽鉄造	1983	25	△11	-	-	B	B	B	B
ごみステーション(寺内)	33.12	木造	2008	34	23	-	-	B	B	B	B
ごみステーション(松山)	39.74	木造	2004	34	19	-	-	B	B	B	B
ごみステーション(下座倉)	38.88	木造	2003	34	18	-	-	B	B	B	B
ごみステーション(郡家)	33.12	木造	2007	34	22	-	-	B	B	B	B
ごみステーション(宝来)	38.88	木造	2002	34	17	-	-	B	B	B	B

建物名	延床面積 ₂ m	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
ごみステーション（黒野 中区）	38.88	木造	2002	34	17	-	-	B	B	B	B
ごみステーション（黒野 東区）	39.74	木造	2007	34	22	-	-	B	B	B	B
ごみステーション（瀬古）	39.74	木造	2004	34	19	-	-	B	B	B	B
ごみステーション（西方）	38.88	木造	2003	34	18	-	-	B	B	B	B
ごみステーション（大野 1区）	33.12	木造	2006	34	21	-	-	B	B	B	B
ごみステーション（大野 2区）	38.88	木造	2006	34	21	-	-	B	B	B	B
ごみステーション（大野 3区）	38.88	木造	2001	34	16	-	-	B	B	B	B
ごみステーション（南方）	38.88	木造	2001	34	16	-	-	B	B	B	B
ごみステーション（みどり ニュータウン）	39.74	木造	2009	34	24	-	-	B	B	B	B
ごみステーション（五之 里）	39.74	木造	2009	34	24	-	-	B	B	B	B
ごみステーション（牛洞）	39.74	木造	2012	34	27	-	-	B	B	B	B
ごみステーション（黒野 北区）	24.30	木造	2000	34	15	-	-	B	B	B	B

5- (5) 管理運営費の状況

令和元年度における管理運営費の状況は以下のとおりです。

施設名	R1年度 使用料等収入 (千円)	R1年度維持管理等支出(千円)			収支(千円)
		維持費用	運営費用	合計	
廃棄物処理場	4,743	150	138,600	138,750	△134,007
ごみステーション(寺内)	0	138	0	138	△148
ごみステーション(松山)	0	5	14	19	△19
ごみステーション(下座倉)	0	5	14	19	△19
ごみステーション(郡家)	0	138	14	152	△152
ごみステーション(宝来)	0	5	14	19	△19
ごみステーション(黒野中区)	0	5	14	19	△19
ごみステーション(黒野東区)	0	164	0	164	△164
ごみステーション(瀬古)	0	5	14	19	△19
ごみステーション(西方)	0	5	14	19	△19
ごみステーション(大野1区)	0	138	14	152	△152
ごみステーション(大野2区)	0	160	14	174	△174
ごみステーション(大野3区)	0	5	14	19	△19
ごみステーション(南方)	0	5	14	19	△19
ごみステーション(みどりニュータウン)	0	164	0	164	△164
ごみステーション(五之里)	0	164	14	178	△178
ごみステーション(牛洞)	0	165	0	165	△165
ごみステーション(黒野北区)	0	100	14	114	△114
ごみ袋販売収入	29,863	0	5,310	5,310	24,553
合計	34,606	1,521	144,092	145,613	△111,007

5- (6) 利用状況

平成29年度から令和元年度までの3年間の利用状況は以下のとおりです。

施設名	種別	H29	H30	R1	R1-H29 増減率
廃棄物処理場	塵芥処理施設	1,264 件	1,349 件	1,447 件	114.5%
ごみステーション (寺内)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%
ごみステーション (松山)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%
ごみステーション (下座倉)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%
ごみステーション (郡家)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%
ごみステーション (宝来)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%
ごみステーション (黒野中区)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%
ごみステーション (黒野東区)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%
ごみステーション (瀬古)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%
ごみステーション (西方)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%
ごみステーション (大野 1 区)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%
ごみステーション (大野 2 区)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%
ごみステーション (大野 3 区)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%
ごみステーション (南方)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%
ごみステーション (みどりニュータウン)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%
ごみステーション (五之里)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%
ごみステーション (牛洞)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%
ごみステーション (黒野北区)	塵芥処理施設	108 回	108 回	108 回	0%

5- (7) 対策費用の見通し

対象施設における今後の対策費用について、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件単価で試算した結果や過去の修繕費用等を元に算出しました。

なお、対策費用はいずれも本計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や今後の災害時の発生状況、社会情勢の変化により、費用の見通しに変動が生じる場合があります。

今後10年間における修繕更新費用の見込み

(単位:千円)

施設名	短期修繕更新予想費用 (1年~3年)	中長期修繕更新予想費用 (4年から10年)	合計
廃棄物処理場	40,000	未定	未定
ごみステーション(寺内)	0	未定	未定
ごみステーション(松山)	0	未定	未定
ごみステーション(下座倉)	0	未定	未定
ごみステーション(郡家)	0	未定	未定
ごみステーション(宝来)	0	未定	未定
ごみステーション(黒野中区)	0	未定	未定
ごみステーション(黒野東区)	0	未定	未定
ごみステーション(瀬古)	0	未定	未定
ごみステーション(西方)	0	未定	未定
ごみステーション(大野1区)	0	未定	未定
ごみステーション(大野2区)	0	未定	未定
ごみステーション(大野3区)	0	未定	未定
ごみステーション(南方)	0	未定	未定
ごみステーション(みどりニュータウン)	0	未定	未定
ごみステーション(五之里)	0	未定	未定
ごみステーション(牛洞)	0	未定	未定
ごみステーション(黒野北区)	0	未定	未定
合計	0	未定	未定

5-(8) 管理運営費等の見通し

過去の実績値等を元に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは、以下のとおりです。

施設名	管理運営費等（千円）		
	2021(R3)～2025(R7)		
	歳出	歳入	実質負担額
廃棄物処理場	416,250	14,229	402,021
ごみステーション（寺内）	414	0	414
ごみステーション（松山）	57	0	57
ごみステーション（下座倉）	57	0	57
ごみステーション（郡家）	456	0	456
ごみステーション（宝来）	57	0	57
ごみステーション（黒野中区）	57	0	57
ごみステーション（黒野東区）	492	0	492
ごみステーション（瀬古）	57	0	57
ごみステーション（西方）	57	0	57
ごみステーション（大野1区）	456	0	456
ごみステーション（大野2区）	522	0	522
ごみステーション（大野3区）	57	0	57
ごみステーション（南方）	57	0	57
ごみステーション（みどりニュータウン）	492	0	492
ごみステーション（五之里）	534	0	534
ごみステーション（牛洞）	495	0	495
ごみステーション（黒野北区）	342	0	342
ごみ袋販売収入	29,863		
合計	450,772	0	△375,267

5-(9) 施設の評価結果

再編の方向性の検討方法に基づいた施設の評価結果は次のとおりです。

施設名	管理運営方式	1次評価	2次評価					総合評価	
			公共性	有効性	効率性	代替性	特質性	機能	建物
廃棄物処理場	委託	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(寺内)	地元	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(松山)	地元	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(下座倉)	地元	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(郡家)	地元	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(宝来)	地元	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(黒野中区)	地元	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(黒野東区)	地元	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(瀬古)	地元	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(西方)	地元	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(大野1区)	地元	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(大野2区)	地元	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(大野3区)	地元	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(南方)	地元	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(みどりニュータウン)	地元	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(五之里)	地元	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(牛洞)	地元	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
ごみステーション(黒野北区)	地元	建て替え	A	B	B	B	B	維持	長寿命化

5- (10) 施設の再編等スケジュール

総合管理計画における課題認識		①更新時期となっていることから大規模修繕・建て替えの検討をします。 ②年少人口の減少傾向を踏まえ、更新又は統廃合の検討と併せて、民間施設との統合や民間移譲も視野に入れたうえでの検討をします。						
No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
17	廃棄物処理場	塵芥処理施設	塵芥処理施設	修繕	事前調査	設計業務	焼却炉取壊し	
				40,000	3,000	5,000	200,000	
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
18	ごみステーション (寺内)	ごみステーション	塵芥処理施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
19	ごみステーション (松山)	ごみステーション	塵芥処理施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
20	ごみステーション (下座倉)	ごみステーション	塵芥処理施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
21	ごみステーション (郡家)	ごみステーション	塵芥処理施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
22	ごみステーション (宝来)	ごみステーション	塵芥処理施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
23	ごみステーション (黒野中区)	ごみステーション	塵芥処理施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								

No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
24	ごみステーション (黒野東区)	ごみステーション	塵芥処理 施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
25	ごみステーション (瀬古)	ごみステーション	塵芥処理 施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
26	ごみステーション (西方)	ごみステーション	塵芥処理 施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
27	ごみステーション (大野1区)	ごみステーション	塵芥処理 施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
28	ごみステーション (大野2区)	ごみステーション	塵芥処理 施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
29	ごみステーション (大野3区)	ごみステーション	塵芥処理 施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
30	ごみステーション (南方)	ごみステーション	塵芥処理 施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
31	ごみステーション (みどりニュー タウン)	ごみステーション	塵芥処理 施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								

No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
32	ごみステーション (五之里)	ごみステーション	塵芥処理 施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
33	ごみステーション (牛洞)	ごみステーション	塵芥処理 施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
34	ごみステーション (黒野北区)	ごみステーション	塵芥処理 施設	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								

6 墓地

6-（1）施設設置の背景と目的

大野町に住所を有する者等が使用できる町管理の墓地として、全796区画ある。

6-（2）施設を取り巻く現状と課題

施設の老朽化による維持管理方法や、使用者の高齢化等による適正管理が課題となってくる。

6-（3）施設の役割

大野町に住所を有する者等が使用できる町管理の墓地として、適切な維持管理、運営をしていく必要がある。

6-（4）施設の現況

令和元年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。

建物名	延床面積 ² m	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
西霊園	28.00	RC	1977	38	△4	—	—	B	B	B	B

6-（5）管理運営費の状況

令和元年度における管理運営費の状況は以下のとおりです。

施設名	R1年度 使用料等収入（千円）	R1年度維持管理等支出（千円）			収支（千円）
		維持費用	運営費用	合計	
西霊園	727	367	144	511	216

6-（6）利用状況

平成29年度から令和元年度までの3年間の利用状況は以下のとおりです。

施設名	種別	H29	H30	R1	R1-H29 増減率
西霊園	区画数	739区画	729区画	720区画	△2.6%

6- (7) 対策費用の見通し

対象施設における今後の対策費用について、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件単価で試算した結果や過去の修繕費用等を元に算出しました。

なお、対策費用はいずれも本計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や今後の災害時の発生状況、社会情勢の変化により、費用の見通しに変動が生じる場合があります。

今後10年間における修繕更新費用の見込み

(単位：千円)

施設名	短期修繕更新予想費用（1年～3年）	中長期修繕更新予想費用（4年から10年）	合計
西霊園	3,737	1,000	4,737
合計	3,737	1,000	4,737

6- (8) 管理運営費等の見通し

過去の実績値等を元に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは、以下のとおりです。

施設名	管理運営費等（千円）		
	2021(R3)～2025(R7)		
	歳出	歳入	実質負担額
西霊園	2,555	3,635	△1,080

6- (9) 施設の評価結果

再編の方向性の検討方法に基づいた施設の評価結果は次のとおりです。

施設名	管理運営方式	1次評価	2次評価					総合評価	
			公共性	有効性	効率性	代替性	特質性	機能	建物
西霊園	委託	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化

6- (10) 施設の再編等スケジュール

総合管理計画における課題認識		施設の一部に老朽化も見受けられる。						
No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
1	西霊園	維持	長寿命化	修繕	修繕	修繕	修繕	修繕
				200	200	200	200	200
				—	—	—	—	—
大きな不良個所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								

7 農業施設

7-（1）施設設置の背景と目的

① 産地形成促進施設(ルート303)

地域の農業の振興、都市と農村の交流促進、地域の活性化を図るとともに、地域連帯感の高揚を目的として、産地形成促進施設を設置しました。

② 各地区研修センター

農業生産の再編成と生産性の向上を図りながら、転作の定着を実施するため、各地区に研修センターを設置しました。

③ バラ公園内育種施設

バラ苗の新品種開発及び地域への供給、交流活動を通じたバラの資質向上を目的として、バラ公園内に育種施設を設置しました。

④ 東屋

町北部に位置する滝谷山から大谷山周辺において、歴史遺産や展望が楽しめる全12コース、総延長9,640mの森林空間・絆の森散策コースを整備し、休憩場所として絆の森内に東屋を設置しました。

7-（2）施設を取り巻く現状と課題

産地形成促進施設は1995年に竣工しており、建築後25年が経過しており、各地区研修センターは全施設が竣工から29年を超える施設となっています。また、バラ公園内育種施設は2004年に竣工しており、建築後16年が経過し、東屋については、2011年に竣工し、建築後9年が経過しています。各施設とも安全面や利便性に影響を及ぼすことは無いものの、軽微な修繕が必要な時期となっています。

7-（3）施設の役割

① 産地形成促進施設(ルート303)

産地形成促進施設(ルート303)においては、農産物の直売、加工及び農業振興にかかる各種展示を行うための直売所、荷受室、事務所、展示ホール、湯沸室、トイレ等を有しています。

② 各地区研修センター

各地区研修センターにおいては、営農等に関する会議及び研修を開催する研修室、トイレ等を有しています。

③ バラ公園内育種施設

バラ公園内育種施設においては、バラを育種する育種施設、農産物等を展示・販売する展示・直売所、各種講習・研修を行う研修施設を有しています。

④ 東屋

大野町牛洞地内絆の森内に休憩場所として東屋を有しています。

7-(4) 施設の現況

令和元年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。

建物名	延床面積 m ²	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
産地形成促進施設(ル-ト303)	450.00	S造	1995	41	17	未	不要	-	-	-	-
黒野西転作定着化研修センター	125.87	木造	1991	41	13	未	不要	-	-	-	-
松山転作定着化研修センター	127.51	木造	1990	41	12	未	不要	-	-	-	-
寺内転作定着化研修センター	142.43	木造	1989	41	11	未	不要	-	-	-	-
公郷転作定着化研修センター	141.03	木造	1985	41	7	未	不要	-	-	-	-
島部転作促進技術研修センター	141.69	S造	1983	41	5	未	不要	-	-	-	-
バラ公園内育種施設、展示・直売所・研修室(バラ公園内)	389.81	S造	2004	34	19	未	不要	-	-	-	-
東屋(絆の森)	14.58	木造	2011	34	26	未	不要	-	-	-	-

7- (5) 管理運営費の状況

令和元年度における管理運営費の状況は以下のとおりです。

施設名	R1 年度 使用料等収入（千円）	R1 年度維持管理等支出（千円）			収支（千円）
		維持費用	運営費用	合計	
産地形成促進施設 (ルート 303)	486	2,092	0	2,092	△1,606
黒野西転作定着化 研修センター	—	—	—	—	—
松山転作定着化研 修センター	—	—	—	—	—
寺内転作定着化研 修センター	—	—	—	—	—
公郷転作定着化研 修センター	—	—	—	—	—
島部転作促進技術 研修センター	—	—	—	—	—
バラ公園内育種施 設、展示・直売所・ 研修室（バラ公園 内）	0	320	0	320	△320
東屋(絆の森)	—	—	—	—	—
合計	486	2,412	0	2,412	△1,926

7- (6) 利用状況

平成29年度から令和元年度までの3年間の利用状況は以下のとおりです。

施設名	種別	H29	H30	R1	R1-H29 増減率
産地形成促進施設(ルート 303)	利用者	54,112	48,092	47,323	△12.5
黒野西転作定着化研修センター	—	—	—	—	—
松山転作定着化研修センター	—	—	—	—	—
寺内転作定着化研修センター	—	—	—	—	—

施設名	種別	H29	H30	R1	R1-H29 増減率
公郷転作定着化研修センター	—	—	—	—	—
島部転作促進技術研修センター	—	—	—	—	—
バラ公園内育種施設、展示・直売所・研修室（バラ公園内）	—	—	—	—	—
東屋(絆の森)	—	—	—	—	—

7- (7) 対策費用の見通し

対象施設における今後の対策費用について、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件単価で試算した結果や過去の修繕費用等を元に算出しました。

なお、対策費用はいずれも本計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や今後の災害時の発生状況、社会情勢の変化により、費用の見通しに変動が生じる場合があります。

今後10年間における修繕更新費用の見込み

(単位：千円)

施設名	短期修繕更新予想費用 (1年～3年)	中長期修繕更新予想費用 (4年から10年)	合計
産地形成促進施設(ルート303)	315	735	1,050
黒野西転作定着化研修センター	—	—	—
松山転作定着化研修センター	—	—	—
寺内転作定着化研修センター	—	—	—
公郷転作定着化研修センター	—	—	—
島部転作促進技術研修センター	—	—	—
バラ公園内育種施設、展示・直売所・研修室（バラ公園内）	0	0	0
東屋(絆の森)	0	0	0
合計	315	735	1,050

7- (8) 管理運営費等の見通し

過去の実績値等を元に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは、以下のとおりです。

施設名	管理運営費等（千円）		
	2021(R3)～2025(R7)		
	歳出	歳入	実質負担額
産地形成促進施設(ルート303)	9,540	2,230	7,310
黒野西転作定着化研修センター	—	—	—
松山転作定着化研修センター	—	—	—
寺内転作定着化研修センター	—	—	—
公郷転作定着化研修センター	—	—	—
島部転作促進技術研修センター	—	—	—
バラ公園内育種施設、展示・直売所・研修室（バラ公園内）	1,660	0	1,660
東屋(絆の森)	0	0	0
合計	11,200	2,230	8,970

7- (9) 施設の評価結果

再編の方向性の検討方法に基づいた施設の評価結果は次のとおりです。

施設名	管理運営方式	1次評価	2次評価					総合評価	
			公共性	有効性	効率性	代替性	特質性	機能	建物
産地形成促進施設(ルート303)	民間委託	建て替え	B	A	B	B	B	維持	長寿命化
黒野西転作定着化研修センター	地元委託	—	—	—	—	—	—	—	—
松山転作定着化研修センター	地元委託	—	—	—	—	—	—	—	—
寺内転作定着化研修センター	地元委託	—	—	—	—	—	—	—	—
公郷転作定着化研修センター	地元委託	—	—	—	—	—	—	—	—
島部転作促進技術研修センター	地元委託	—	—	—	—	—	—	—	—
バラ公園内育種施設、展示・直売所・研修室（バラ公園内）	直	建て替え	B	B	B	B	B	維持	長寿命化
東屋(絆の森)	直	建て替え	B	B	B	B	B	廃止	廃止

7- (10) 施設の再編等スケジュール

総合管理計画における課題認識		<p>① 利用実態を考慮して施設の設置目的や管理運営方法等について検討を行います。</p> <p>② 産地形成促進施設（ルート303）については、現在管理を委託しており、今後継続的に収支データを分析し、その他維持費及び燃料・光熱水費を中心に検討を行います。</p> <p>③ 研修センターは、全ての施設において更新時期となっていますが、地元に一括管理している施設であり、今後の所有権について協議の必要があります。</p>						
NO	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用（千円）、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
36	産地形成促進施設(ルート303)	建て替え	長寿命化	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
37	黒野西転作定着化研修センター	—	—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
—								
38	松山転作定着化研修センター	—	—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
—								
39	寺内転作定着化研修センター	—	—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
—								
40	公郷転作定着化研修センター	—	—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
—								
41	島部転作促進技術研修センター	—	—	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
—								

NO	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
42	バラ公園内育種施設、展示・直売所・研修室(バラ公園内)	建て替え	長寿命化	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
43	東屋(絆の森)	建て替え	廃止	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								

8 産業施設

8-（1）施設設置の背景と目的

東海環状自動車道大野神戸 IC の開通に伴い、人・物・情報の流れが大きく変化し、地域間交流の促進や工場立地などの新たな可能性が高まることが見込まれるなか、この契機を最大限に活用するため、IC 周辺に地域活性化の核となる道の駅「パレットピアおおの」を整備しました。

8-（2）施設を取り巻く現状と課題

道の駅「パレットピアおおの」は、地域振興に寄与するだけでなく、広域的な観光情報発信拠点でもあり、また路線バスの拠点となる公共交通機能や木育による子育て支援機能、さらには、災害時の緊急避難場所、広域防災拠点としての防災機能も有しており、多機能で新たな可能性を持つ道の駅であります。今後は、こうした機能を最大限に活用した運営が求められており、現在、指定管理者制度を導入して運営をしていますが、運営面でのコストも考慮しながら、長期的な運営計画が必要となっています。

8-（3）施設の役割

道の駅は主に次の機能・施設を有しており、町内外からの来訪者を迎え入れる地域活性化の拠点施設となっています。

① 地域振興・産業振興機能

地域振興施設において、地元の野菜や加工品などを販売するほか、レストランやベーカリーにおいて、地元の食材を活用した料理を提供する。

② 情報発信・休憩機能

トイレ・情報館においては、100インチの大型モニターでの広域観光情報の発信のほか、道路情報を提供します。また、トイレにはパウダールームやおむつ替え台、オストメイト対応の多目的トイレを完備しています。

③ 公共交通機能

道の駅バスターミナルにおいては、岐阜方面や大垣方面の路線バスが乗り入れており、地域の公共交通機能を補完するとともにパークアンドバスライドを推進するため、266台の駐車場を整備しています。

④ 防災機能

飲料水兼用耐震性貯水槽や防災倉庫、マンホールトイレなど指定緊急避難場所として地域住民や帰宅困難者の一時的な避難場所としての機能に加えて、大規模災害発生時には自衛隊や警察などの支援活動の拠点としての機能を有しています。

⑤ 子育て支援機能

県産材を使用した大型木製遊具や木のおもちゃをふんだんに取り入れた子育て支援施設を併設しており、図書ルームや乳児室を備え、子育て親子の交流の場を提供します。

8-(4) 施設の現況

令和元年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。

建物名	延床面積 m ²	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
道の駅 地域振興施設	1900.00	S造	2018	41	40	済	不要	—	—	—	—
道の駅 トイレ・情報館	260.00	木造	2018	34	33	済	不要	—	—	—	—
道の駅 屋根付回廊	1100.00	S造	2018	41	40	済	不要	—	—	—	—

8-(5) 管理運営費の状況

令和元年度における管理運営費の状況は以下のとおりです。

施設名	R1年度 使用料等収入（千円）	R1年度維持管理等支出（千円）			収支（千円）
		維持費用	運営費用	合計	
道の駅 地域振興施設	16,023	25,684	16,927	42,611	△26,588
道の駅 トイレ・情報館	—	3,339	0	3,339	△3,339
道の駅 屋根付回廊	—	4,627	0	4,627	△4,627
合計	16,023	33,650	16,927	50,577	△34,554

8- (6) 利用状況

平成29年度から令和元年度までの3年間の利用状況は以下のとおりです。

施設名	種別	H29	H30	R1	R1-H29 増減率
道の駅 地域振興施設	来場者数(人)	—	371,331	386,051	104%
道の駅 トイレ・情報館	—	—	—	—	—
道の駅 屋根付回廊	—	—	—	—	—

8- (7) 対策費用の見通し

対象施設における今後の対策費用について、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件単価で試算した結果や過去の修繕費用等を元に算出しました。

なお、対策費用はいずれも本計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や今後の災害時の発生状況、社会情勢の変化により、費用の見通しに変動が生じる場合があります。

今後10年間における修繕更新費用の見込み

(単位：千円)

施設名	短期修繕更新予想費用 (1年～3年)	中長期修繕更新予想費用 (4年から10年)	合計
道の駅 地域振興施設	6,160	7,040	13,200
道の駅 トイレ・情報館			
道の駅 屋根付回廊			
合計(千円)	6,160	7,040	13,200

上記の修繕費用以外に、指定管理者が変更となった場合、厨房備品の更新等を行う可能性があります。

8- (8) 管理運営費等の見通し

過去の実績値等を元に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは、以下のとおりです。

施設名	管理運営費等(千円)		
	2021(R3)～2025(R7)		
	歳出	歳入	実質負担額
道の駅 地域振興施設	166,000	100,130	65,870
道の駅 トイレ・情報館			
道の駅 屋根付回廊			
合計	166,000	100,130	65,870

8- (9) 施設の評価結果

再編の方向性の検討方法に基づいた施設の評価結果は次のとおりです。

施設名	管理運営方式	1次評価	2次評価					総合評価	
			公共性	有効性	効率性	代替性	特質性	機能	建物
道の駅 地域振興施設	指定管理	現状維持	A	A	B	A	B	維持	維持
道の駅 トイレ・情報館	指定管理	現状維持	A	A	B	B	B	維持	維持
道の駅 屋根付回廊	指定管理	現状維持	B	A	B	B	A	維持	維持

8- (10) 施設の再編等スケジュール

総合管理計画		①						
No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
1	道の駅 地域振興施設	維持	維持	—	指定管理者更新による内装修繕	プロポーザル方式による指定管理者変更(9月)	—	—
				—	5,720	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
2	道の駅 トイレ・情報館	維持	維持	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
3	道の駅 屋根付回廊	維持	維持	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								

9 公園施設

9-（1）施設設置の背景と目的

地域住民のふれあいと憩いの場となるよう、町内で多目的に利用できるオープンスペース、すべり台やブランコ等の遊具、トイレや東屋、パーゴラ等の休憩施設を備えた公園が整備されてきました。名鉄廃線を利用した黒野駅レールパークや揖斐二度ザクラ公園、条理公園等地域の特性を活かした公園も整備されています。

9-（2）施設を取り巻く現状と課題

利用者ニーズの多様化による公園利用者の減、遊具や施設の老朽化による安全管理や維持管理にかかる経費の増大が課題となっています。

9-（3）施設の役割

良好な環境を形成し、災害時には避難所として機能するとともに、レクリエーションの場を提供するなど多様な役割を担っております。

9-（4）施設の現況

令和元年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。

建物名	延床面積 ㎡	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果				
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装	
木振ふれあい公園	29.00											
・トイレ	29.00	RC	1999	34	14	不要	不要	B	B	B	B	
やまびこ公園	5.63											
・トイレ	5.63	RC	2013	38	32	不要	不要	A	A	A	A	
桜台団地公園	建物なし											
野ふれあい広場	建物なし											
松山水辺公園	9.09											
・トイレ	2.33	RC	2006	34	21	不要	不要	A	A	A	A	
・東屋	6.76	RC	2006	34	21	不要	不要	A	A	A	A	
バラ公園	29.77											
・トイレ	29.77	RC	1996	38	15	不要	不要	B	B	B	B	

建物名	延床面積 ㎡	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果				
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装	
下方住吉灯明台公園	9.09											
・トイレ	2.33	RC	2006	34	21	不要	不要	A	A	A	A	A
・東屋	6.76	木造	2006	34	21	不要	不要	A	A	A	A	A
揖斐二度ザクラ公園	建物なし											
大野バスセンターふれあい広場	161.34											
・観交ステーション	87.72	S造	2007	41	29	不要	不要	A	A	A	A	A
・トイレ	15.00	RC	2008	38	27	不要	不要	A	A	A	A	A
・駐輪場	58.62	S造	2008	34	23	不要	不要	A	A	A	A	A
瀬古ふれあい広場	建物なし											
桜大門ふれあい広場	9.00											
・トイレ	9.00	RC	1999	38	18	不要	不要	B	B	B	B	B
大野ふれあい広場	建物なし											
黒野ふれあい広場	2.00											
・トイレ	2.00	木造	1992	34	7	不要	不要	B	B	B	B	B
条里公園	21.84											
・トイレ	21.84	RC	2012	34	27	不要	不要	A	A	A	A	A
根尾川リバーサイドパーク	建物なし											
藪川橋西詰公園	建物なし											
うぐいす公園	15.00											
・トイレ	15.00	RC	2012	34	27	不要	不要	A	A	A	A	A
黒野駅レールパーク	306.00											
・黒野駅ミュージアム	285.00	木造	2012	41	34	不要	不要	A	A	A	A	A
・トイレ	21.00	RC	2012	34	27	不要	不要	A	A	A	A	A
松山ふれあい広場	9.00											
・トイレ	9.00	RC	2006	34	21	不要	不要	A	A	A	A	A
上秋ふれあい広場	6.00											
・トイレ	6.00	木造	1995	34	10	不要	不要	B	B	B	B	B

9- (5) 管理運営費の状況

令和元年度における管理運営費の状況は以下のとおりです。

施設名	R1年度 使用料等収入（千円）	R1年度維持管理等支出（千円）			収支（千円）
		維持費用	運営費用	合計	
公園施設	65	43,123	2,974	46,097	△46,032

9- (6) 利用状況

出入りが自由であることから、把握ができません。

9- (7) 対策費用の見通し

対象施設における今後の対策費用について、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件単価で試算した結果や過去の修繕費用等を元に算出しました。

なお、対策費用はいずれも本計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や今後の災害時の発生状況、社会情勢の変化により、費用の見通しに変動が生じる場合があります。

今後10年間における修繕更新費用の見込み (単位：千円)

施設名	短期修繕更新予想費用（1年～3年）	中長期修繕更新予想費用（4年から10年）	合計
公園施設	6,843	15,967	22,810

9- (8) 管理運営費等の見通し

過去の実績値等を元に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは、以下のとおりです。

施設名	管理運営費等（千円）		
	2021(R3)～2025(R7)		
	歳出	歳入	実質負担額
公園施設	230,486	327	230,159

9- (9) 施設の評価結果

再編の方向性の検討方法に基づいた施設の評価結果は次のとおりです。

施設名	管理運営方式	1次評価	2次評価					総合評価	
			公共性	有効性	効率性	代替性	特質性	機能	建物
公園施設	直営	収支改善	A	A	B	B	B	維持	長寿命化

9- (10) 施設の再編等スケジュール

総合管理計画		①施設に関する問題はないが、長寿命化に関する計画がなくその都度補修工事や施設更新をしている。						
No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
47 ～ 62	公園施設	継続	維持修繕	—	パド-設計 再整備計画	パド-建設	—	—
				—	9,296	199,625	—	—
				—	—	—	—	—
機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理を図る。								

10 公営住宅

10-（1）施設設置の背景と目的

町内には、公営住宅として、町営住宅及び特定公共賃貸住宅が計4箇所設置されています。

町営住宅は、住宅に困っている低所得者に対し、健康で文化的な生活が営まれるように低廉な家賃で賃貸することで、町民生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的として設置されました。

特定公共賃貸住宅は、町の人口が増加傾向にあるなか、民間の賃貸住宅だけでは、良質な賃貸住宅の不足が想定されたため、中堅所得者が、安全、安心で快適な住環境を取得でき、定住人口増加を図ることを目的に設置されました。

10-（2）施設を取り巻く現状と課題

町営住宅において、中之元北団地以外の住宅は、旧耐震基準による建築物で耐用年数も過ぎている住宅もあります。新規の入居は認めていませんが、現在の入居者の高齢化や廃止又は建て替えが課題となっています。

特定公共賃貸住宅は、町の人口が減少傾向にあるなか、民間賃貸住宅を含め、供給過多の状態が続いています。入居率も50%程度が続いており、入居率アップが課題となっています。

10-（3）施設の役割

安全、安心で快適な住環境を提供し、定住人口の増加を図ることにより、地域の活性化と活力あるまちづくりに寄与することです。

10-（4）施設の現況

令和元年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。

建物名	延床面積 m ²	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
町営住宅稲富団地	64.10	木造	1963	38	△18	未	要	D	C	C	D
町営住宅中之元北団地	2,379.29	PC	2004	47	32	未	不要	A	B	B	B
町営住宅中之元南団地	446.30	木造	1962	38	△19	未	要	D	C	C	D
町営住宅上秋団地	1,697.22	PC	1977 ～ 1978	47	4～5	未	要	D	C	C	D

10-(5) 管理運営費の状況

令和元年度における管理運営費の状況は以下のとおりです。

施設名	R1年度 使用料等収入（千円）	R1年度維持管理等支出（千円）			収支（千円）
		維持費用	運営費用	合計	
町営住宅稲富団地	58	152	0	152	△94
町営住宅中之元北団地	10,288	3,776	681	4,457	5,831
町営住宅中之元南団地	359	327	0	327	32
町営住宅上秋団地	3,071	675	0	675	2,396

10-(6) 利用状況

平成29年度から令和元年度までの3年間の利用状況は以下のとおりです。

施設名	種別	H29	H30	R1	R1-H29 増減率
町営住宅稲富団地	入居戸数	2	2	2	0%
町営住宅中之元北団地	入居戸数	21	21	20	△5%
町営住宅中之元南団地	入居戸数	15	14	13	△13%
町営住宅上秋団地	入居戸数	24	22	19	△20%

10-(7) 対策費用の見通し

対象施設における今後の対策費用について、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件単価で試算した結果や過去の修繕費用等を元に算出しました。

なお、対策費用はいずれも本計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や今後の災害時の発生状況、社会情勢の変化により、費用の見通しに変動が生じる場合があります。

今後10年間における修繕更新費用の見込み

(単位：千円)

施設名	短期修繕更新予想費用 (1年～3年)	中長期修繕更新予想費用 (4年から10年)	合計
町営住宅稲富団地	207	345	552
町営住宅中之元北団地	2,274	3,790	6,064
町営住宅中之元南団地	276	460	736
町営住宅上秋団地	1,548	2,580	4,128
合計	4,305	7,175	11,480

10- (8) 管理運営費等の見通し

過去の実績値等を元に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは、以下のとおりです。

施設名	管理運営費等（千円）		
	2021(R3)～2025(R7)		
	歳出	歳入	実質負担額
町営住宅稲富団地	758	288	470
町営住宅中之元北団地	22,286	51,440	△29,154
町営住宅中之元南団地	1,635	1,794	△159
町営住宅上秋団地	3,375	15,354	△11,979
合計	28,054	68,876	△40,822

10- (9) 施設の評価結果

再編の方向性の検討方法に基づいた施設の評価結果は次のとおりです。

施設名	管理運営方式	1次評価	2次評価					総合評価	
			公共性	有効性	効率性	代替性	特質性	機能	建物
町営住宅稲富団地	直営	建て替え	B	B	C	B	B	継続	長寿命化
町営住宅中之元北団地	直営	収支改善	A	A	B	B	B	継続	長寿命化
町営住宅中之元南団地	直営	建て替え	B	B	C	B	B	継続	長寿命化
町営住宅上秋団地	直営	統廃合	B	B	C	B	B	継続	長寿命化

10- (10) 施設の再編等スケジュール

総合管理計画	<p>① 中之元北団地以外全ての施設が旧耐震基準による建築であり、大規模修繕・建て替え時期を迎えています。また、空室率が30%を超える施設もあることから、今後は、統廃合及び民間又は地域への移譲も視野に入れたうえで検討を行う必要があります。</p> <p>② 将来的な人口減少等の環境変化に合わせた統合や廃止について、地域性を考慮しつつ検討する必要があります。</p>
--------	---

No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
63	町営住宅 稲富団地	継続	長寿 命化	-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理を図る。入居者退去完了後取壊。								
64	町営住宅 上秋団地	継続	長寿 命化	-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理を図る。入居者退去完了後取壊。								
65	町営住宅 中之元北 団地	継続	長寿 命化	ILパター修繕	長寿命化 計画策定	屋根外壁 防水工事	ボイラー取替 (1F)	ボイラー取替 (2F)
				521	1,427	59,062	3,200	3,200
				-	-	-	-	-
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
66	町営住宅 中之元南 団地	継続	長寿 命化	-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
機能維持のための修繕を実施しながら、適正な維持管理を図る。入居者退去完了後取壊。								

1.1 排水施設

1.1-1 (1) 施設設置の背景と目的

本町は、揖斐川と根尾川に挟まれており、南部地域においては、古くから豪雨による災害を受けている地域であります。平成14年の台風6号豪雨では、家屋18世帯が浸水する甚大な水害が発生し、これをきっかけに町南部の排水対策が検討され、平成22年度にその対策の一つとして、下座倉排水機場が設置されました。

1.1-1 (2) 施設を取り巻く現状と課題

下座倉排水機場は、同時期に国が設置した花田川排水機場と共に大野町南部の排水対策に大きな役割を果たしてきました。しかしながら、近年、激甚化・頻発化する気象災害により、地元住民はその排水能力に限界を感じている。

1.1-1 (3) 施設の役割

町南部の排水は、下座倉、西座倉ひ管より根尾川へ自然排水していますが、雨により根尾川の水位が上昇し、町内へ逆流が発生すると両ひ管は閉められます。それにより町内に降った雨水が行き場を失うと、水害が発生しますので、そうならないように排水機でたまった雨水を根尾川へ放流しています。

1.1-1 (4) 施設の現況

令和元年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。

建物名	延床面積 ² m	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
下座倉排水機場	36.82	RC	2009	38	28	未	不要	A	B	B	B

1.1-1 (5) 管理運営費の状況

令和元年度における管理運営費の状況は以下のとおりです。

施設名	R1年度負担金 (千円)	R1年度維持管理等支出(千円)			収支(千円)
		維持費用	運営費用	合計	
下座倉排水機場	1,279	2,121	1,075	3,196	△1,917

11- (6) 利用状況

平成29年度から令和元年度までの3年間の稼働状況は以下のとおりです。

施設名	種別	H29	H30	R1	R1-H29 増減率
下座倉排水機場	稼働日数	3日	9日	3日	0%

11- (7) 対策費用の見通し

対象施設における今後の対策費用について、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件単価で試算した結果や過去の修繕費用等を元に算出しました。

なお、対策費用はいずれも本計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や今後の災害時の発生状況、社会情勢の変化により、費用の見通しに変動が生じる場合があります。

今後10年間における修繕更新費用の見込み (単位：千円)

施設名	短期修繕更新予想費用 (1年～3年)	中長期修繕更新予想費用 (4年から10年)	合計
下座倉排水機場	3,405	7,945	11,350
合計	3,405	7,945	11,350

11- (8) 管理運営費等の見通し

過去の実績値等を元に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは、以下のとおりです。

施設名	管理運営費等 (千円)		
	2021 (R3)～2025 (R7)		
	歳出	歳入	実質負担額
下座倉排水機場	10,606	6,394	4,212
合計	10,606	6,394	4,212

11- (9) 施設の評価結果

再編の方向性の検討方法に基づいた施設の評価結果は次のとおりです。

施設名	管理運営方式	1次評価	2次評価					総合評価	
			公共性	有効性	効率性	代替性	特質性	機能	建物
下座倉排水機場	直営	収支改善	A	A	B	C	B	継続	長寿命化

11-(10) 施設の再編等スケジュール

総合管理計画		①排水機場は、竣工間もない施設のため施設に関する問題はない。引き続き、神戸町等と連携し効率的な運用を行う。						
No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
1	下座倉排水機場	継続	長寿命化	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								

12 学校施設

12-（1）施設設置の背景と目的

学校施設は、1970（昭和 45）年以降の人口流動安定期に伴い、整備が進みました。建物の全体の半数以上は築年数が 40 年以上で、老朽化が進んでおり、限られた財源の中で今後 10 年～15 年間で多くの施設整備を行わなければなりません。施設を可能な限り長期間利用し、施設整備にかかるコストを抑制することを考慮し、効果的・効率的な施設整備を検討する必要があります。

12-（2）施設を取り巻く現状と課題

児童生徒数の減少、学校施設の老朽化が進んでいく中で、今後、教育環境の維持をしていくために校舎や体育館の耐震化工事及び学校施設のトイレの洋式化や教室の空調設備整備、ICT 機器の充実などの整備に取り組んできました。今後は、校舎の屋上などの経年劣化による防水工事や給配水管の漏水対応、機械電気設備等の改修の課題がありますが、学校施設をいかに長寿命化させ、コストを抑えながら整備を進めていくかを考えていきます。

12-（3）施設の役割

学校施設は、児童生徒の学習や生活の場であるとともに、非常災害時には避難所として地域住民の避難生活の拠点としての役割を担っています。また、日常のみならず災害時においても十分な安全性・機能性を有することが求められています。

12-（4）施設の現況

令和元年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。

建物名	延床面積 m ²	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
大野小学校	6,718.00										
北校舎 1	1,051.00	RC	1963	47	△10	済	済	-	-	-	-
北校舎 2	1,242.00	RC	1964	47	△9	済	済	-	-	-	-
北校舎 3	525.00	RC	1965	47	△8	済	済	-	-	-	-
南校舎 1	1,584.00	RC	1971	47	△2	済	済	-	-	-	-
南校舎 2	666.00	RC	1974	47	1	済	済	-	-	-	-
体育館	1,388.00	SRC	1988	38	6	済	不要	-	-	-	-
倉庫・物置	119.00	CB	1989	31	0	未実施	未実施	-	-	-	-
便所	22.00	RC	1989	38	7	未実施	未実施	-	-	-	-

建物名	延床面積 m ²	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
技術室・機械室	26.00	RC	1989	38	7	未実施	未実施	-	-	-	-
脱衣所・更衣室	95.00	RC	1989	47	16	未実施	未実施	-	-	-	-
北小学校	4,872.00										
校舎	3,748.00	RC	1978	47	5	済	済	-	-	-	-
体育館	960.00	SRC	1979	38	△3	済	済	-	-	-	-
倉庫・物置	68.00	CB	1991	31	2	未実施	未実施	-	-	-	-
便所	16.00	CB	1989	31	0	未実施	未実施	-	-	-	-
脱衣室・更衣室	80.00	SRC	1979	38	△3	未実施	未実施	-	-	-	-
西小学校	4,295.00										
校舎1	1,405.00	RC	1972	47	△1	済	済	-	-	-	-
校舎2	1,521.00	RC	1979	47	6	済	済	-	-	-	-
校舎3	120.00	SRC	1991	38	9	済	済	-	-	-	-
体育館	1,010.00	SRC	1991	38	9	済	不要	-	-	-	-
倉庫・物置	81.00	CB	1993	31	4	未実施	未実施	-	-	-	-
技術室・機械室	41.00	RC	1992	38	10	未実施	未実施	-	-	-	-
脱衣室・更衣室	78.00	RC	1992	47	19	未実施	未実施	-	-	-	-
倉庫・物置	12.00	SRC	1993	34	7	未実施	未実施	-	-	-	-
便所	27.00	SRC	1993	34	7	未実施	未実施	-	-	-	-
中小学校	3,633.00										
校舎	1,586.00	RC	1973	47	0	済		-	-	-	-
特別教室棟	822.00	RC	1990	47	17	済	不要	-	-	-	-
体育館	1,010.00	SRC	1990	38	8	済	不要	-	-	-	-
便所	15.00	RC	1984	38	2	未実施	未実施	-	-	-	-
倉庫・物置	80.00	CB	1990	31	1	未実施	未実施	-	-	-	-
脱衣室・更衣室	96.00	RC	1991	47	18	未実施	未実施	-	-	-	-
技術室・機械室	24.00	RC	1991	38	9	未実施	未実施	-	-	-	-

建物名	延床面積 m	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果				
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装	
南小学校	4,270.00											
校舎 1	2,935.00	RC	1986	47	13	済	不要	-	-	-	-	-
校舎 2	134.00	木造	2010	38	28	済	不要	-	-	-	-	-
体育館	1,016.00	SRC	1987	47	14	済	不要	-	-	-	-	-
技術室・機械室	35.00	RC	1986	38	4	未実施	未実施	-	-	-	-	-
倉庫・物置	150.00	RC	1986	38	4	未実施	未実施	-	-	-	-	-
東小学校	5,222.90											
校舎	3,577.00	RC	1982	47	9	済	不要	-	-	-	-	-
体育館	1,034.00	SRC	1983	38	1	済	不要	-	-	-	-	-
食堂	512.00	SRC	1982	38	0	未実施	未実施	-	-	-	-	-
倉庫・物置	85.00	CB	1982	31	△7	未実施	未実施	-	-	-	-	-
技術室・機械室	14.90	CB	1982	31	△7	未実施	未実施	-	-	-	-	-
大野中学校	12,110.00											
普通教室棟	3,198.00	RC	1981	47	8	済	不要	-	-	-	-	-
特別教室棟	4,743.00	RC	1981	47	8	済	不要	-	-	-	-	-
体育館	3,056.00	RC	1985	47	12	済	不要	-	-	-	-	-
食堂棟	930.00	SRC	1981	38	△1	済	不要	-	-	-	-	-
倉庫	183.00	CB	1986	31	△3	未実施	未実施	-	-	-	-	-
揖東中学校	5,211.00											
普通教室棟	1,084.00	RC	1970	47	△3	済	済	-	-	-	-	-
体育館	969.00	RC	1974	47	1	済	済	-	-	-	-	-
特別教室棟	2,170.00	SRC	1983	47	10	済	不要	-	-	-	-	-
食堂	372.00	SRC	1983	38	1	済	不要	-	-	-	-	-
管理棟	350.00	RC	1983	50	13	済	不要	-	-	-	-	-
倉庫 1	145.00	CB	1983	31	△6	未実施	未実施	-	-	-	-	-
倉庫 2	29.00	CB	1983	31	△6	未実施	未実施	-	-	-	-	-
倉庫 3	24.00	CB	1983	31	△6	未実施	未実施	-	-	-	-	-

建物名	延床面積 ㎡	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
プール付 属室	68.00	SRC	1978	38	△4	未実施	未実施	-	-	-	-

12-（5）管理運営費の状況

令和元年度における管理運営費の状況は以下のとおりです。

施設名	R1年度 使用料等収入（千円）	R1年度維持管理等支出（千円）			収支（千円）
		維持費用	運営費用	合計	
大野小学校	3,621	29,846	2,695	32,541	△28,920
北小学校	2,311	29,748	1,836	31,584	△29,273
西小学校	3,120	22,080	1,823	23,903	△20,783
中小学校	3,176	28,202	1,605	29,807	△26,631
南小学校	2,026	27,291	1,812	29,103	△27,077
東小学校	3,682	31,978	2,263	34,241	△30,559
大野中学校	308	67,354	5,224	72,578	△72,270
揖東中学校	833	36,092	2,539	38,631	△37,798
合計	19,077	272,591	19,797	292,388	△273,311

12-（6）利用状況

平成29年度から令和元年度までの3年間の利用状況は以下のとおりです。

施設名	種別	H29	H30	R1	R1-H29 増減率
大野小学校	児童数	358	334	336	△22
北小学校	児童数	222	194	186	△36
西小学校	児童数	182	185	169	△13
中小学校	児童数	138	147	146	8
南小学校	児童数	221	203	174	△47
東小学校	児童数	271	274	266	△5
大野中学校	生徒数	625	584	569	△56
揖東中学校	生徒数	199	188	199	0

12-(7) 対策費用の見通し

対象施設における今後の対策費用について、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件単価で試算した結果や過去の修繕費用等を元に算出しました。

なお、対策費用はいずれも本計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や今後の災害時の発生状況、社会情勢の変化により、費用の見通しに変動が生じる場合があります。

今後10年間における修繕更新費用の見込み

(単位：千円)

施設名	短期修繕更新予想費用 (1年～3年)	中長期修繕更新予想費用 (4年から10年)	合計
大野小学校	7,500	17,500	25,000
北小学校	1,500	3,500	5,000
西小学校	4,200	9,800	14,000
中小学校	2,400	5,600	8,000
南小学校	3,300	7,700	11,000
東小学校	6,600	15,400	22,000
大野中学校	7,350	17,150	24,500
揖東中学校	3,150	7,350	10,500
合計	36,000	84,000	120,000

12-(8) 管理運営費等の見通し

過去の実績値等を元に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは、以下のとおりです。

施設名	管理運営費等 (千円)		
	2021(R3)～2025(R7)		
	歳出	歳入	実質負担額
大野小学校	180,400	18,100	162,300
北小学校	167,000	11,500	155,500
西小学校	156,800	15,600	141,200
中小学校	126,400	15,800	110,600
南小学校	159,200	10,100	149,100
東小学校	191,000	18,400	172,600
大野中学校	404,000	1,500	402,500
揖東中学校	215,000	4,100	210,900
合計	1,599,800	95,100	1,504,700

12-(9) 施設の評価結果

再編の方向性の検討方法に基づいた施設の評価結果は次のとおりです。

施設名	管理運営方式	1次評価	2次評価					総合評価	
			公共性	有効性	効率性	代替性	特質性	機能	建物
大野小学校	直	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
北小学校	直	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
西小学校	直	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
中小学校	直	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
南小学校	直	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
東小学校	直	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
大野中学校	直	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化
揖東中学校	直	建て替え	A	A	B	B	B	維持	長寿命化

12-(10) 施設の再編等スケジュール

総合管理計画	① 大規模改修等の検討をします。 ② 電気設備等の更新・増設等を検討します。 ③ 収支データを分析し、維持管理等を中心に検討します。								
No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)					
				R3	R4	R5	R6	R7	
66	大野小学校	維持	長寿命化	空調設備設置(13年)		教育機器更新(5年)		校務用PC更新(5年)	
				2,800		2,400		1,600	
				機器等点検	機器等点検	機器等点検	機器等点検	機器等点検	
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。									
67	北小学校	維持	長寿命化	空調設備設置(13年)	教育機器更新(5年)			校務用PC更新(5年)	
				1,440	1,650			1,600	
				機器等点検	機器等点検	機器等点検	機器等点検	機器等点検	
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。									

No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
69	西小学校	維持	長寿命化	空調設備設置(13年)	教育機器更新(5年)			校務用 PC 更新(5年)
				1,770	1,650			1,600
				機器等点検	機器等点検	機器等点検	機器等点検	機器等点検
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
70	中小学校	維持	長寿命化	空調設備設置(13年)	教育機器更新(5年)			校務用 PC 更新(5年)
				1,260	1,650			1,600
				機器等点検	機器等点検	機器等点検	機器等点検	機器等点検
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
71	南小学校	維持	長寿命化	空調設備設置(13年)		教育機器更新(5年)		校務用 PC 更新(5年)
				1,440		2,400		1,600
				機器等点検	機器等点検	機器等点検	機器等点検	機器等点検
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
68	東小学校	維持	長寿命化	空調設備設置(13年)		教育機器更新(5年)		校務用 PC 更新(5年)
				3,120		2,400		1,600
				機器等点検	機器等点検	機器等点検	機器等点検	機器等点検
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
72	大野中学校	維持	長寿命化	空調設備設置(13年)	教育機器更新(5年)			校務用 PC 更新(5年)
				6,500	3,600			1,600
				機器等点検	機器等点検	機器等点検	機器等点検	機器等点検
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
73	揖東中学校	維持	長寿命化	空調設備設置(13年)	教育機器更新(5年)			校務用 PC 更新(5年)
				3,440	3,600			1,600
				機器等点検	機器等点検	機器等点検	機器等点検	機器等点検
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								

13 社会教育施設

13-（1）施設設置の背景と目的

社会教育施設とは「社会教育の奨励に必要な施設（社会教育法第3条）」である。総合市民センターと中央公民館は、市民の教育、芸術、文化の振興及び福祉の増進を、地区公民館は地域の文化及び地区住民の教養の向上と福祉の増進を、図書館は学習情報の提供と市民の読書活動の推進を目的として設置されました。

民俗資料館は、文化財全般の保存と普及を目的に、昭和43年に大野小学校から木造旧校舎を移築し、昭和48年に開館しました。埋蔵文化財センターは、平成9年建築の旧いび川農業協同組合富秋出張所建物を令和元年度に取得、改修し、町を特徴付ける考古資料の展示、普及、観光活用を目的としています（令和3年度開館予定）。

「旧北岡田家住宅」は、明治初年から約70年かけて建築された住宅で、6棟が国登録有形文化財になっています。平成27年に取得し以後定期公開していますが、文化財の更なる活用に資するため、順次整備を進めています。

市民のスポーツ及び社会体育の推進を図るため、スポーツ基本法の規定により、市民体育館、市民武道館、市民東運動場、市民東庭球場、大野揖斐川パークが設置されました。

また、スポーツ及びレクリエーションを通じて市民の心身の健全な発達と明るく豊かな市民生活の形成に寄与するため、レインボースタジアムとメイプルグラウンド等を有する大野町運動公園が設置されました。

13-（2）施設を取り巻く現状と課題

社会教育施設は、令和元年度1年間でのべ約41万人の利用があり、生きがづくり、豊かな地域づくりのための活動拠点となっています。令和元年度は使用料の見直しを行い、各クラブ、サークル等に公平な負担をお願いしました。

中央公民館は設置から50年以上が経過し、老朽化が深刻な課題となっています。また、各地区公民館も25年以上経過し、それぞれ老朽化が目立ってきました。総合市民センターは指定管理者制度を活用し、民間事業者のノウハウを活用しながら運営を行っていますが、設置から26年が経過し、今後多額な改修費用が見込まれています。今後は、人口の推移等を見極めたうえで施設の統廃合も含めた検討が必要です。

民俗資料館は老朽化のため不定期の公開に限定しており、年間利用者は500人程度です。今後は、民俗資料専用の収蔵庫として維持する見込みです。

旧北岡田家住宅も建築後相当年となり（主屋は大正5年建築）、昭和30年代に行われた大規模修理から数えてもすでに60年が経過していて老朽化が目立ちます。令和2年度までに防災設備の整備、主屋の耐震補強が完成するため、利用上の制約は大きく軽減されます。改修には文化財の価値が損なわないことが必要のため、保存活用計画を策定し計画的に改修をすすめています。長期に渡って多額の費用が見込まれます。

年間130団体、のべ1万人を超える利用者が、健康づくりや仲間づくり等それぞれの目的をもって体育施設を利用しています。

令和元年度には、受益者負担の公平性確保のため、使用料の見直しを行いました。

体育館、武道館は設置から40年以上が経過、運動公園のレインボースタジアムは21年が経過し、損耗や老朽化が深刻です。利用者の多彩な需要に応えるため、施設の維持管理や新改設に関し、運営方法の効率化や照明LED採用等の省コスト化を含めて柔軟に検討する必要があります。

13- (3) 施設の役割

総合市民センターは、大野町の社会教育施設の中核を担う施設として「ふれあいホール」「図書館」「研修施設」を備えており、文化活動、生涯学習活動、福祉活動などの拠点として、また、広くコミュニケーションの場として市民に利用されています。

中央公民館、地区公民館は、「多目的ホール」「研修室」「和室」「調理室」等を備えており、市民、特に一定地域の地域住民の教養の向上や福祉の増進のために活用されています。

民俗資料館は現在、民俗資料を中心とする資料の収集・保管、児童生徒に対する昔のくらし体験の場として機能しています。

埋蔵文化財センターは、町の埋蔵文化財の調査・研究、考古資料の展示、学習のための中心となる施設で、公開エリアは「展示室」「セミナー室」が整備されています。

「旧北岡田家住宅」は、良質な文化財を身近に触れながら、広く交流や活動に利用できる施設として整備をすすめています。また、旧北岡田家住宅に伝わる美術品や古文書資料などの近世-近代資料の保存、公開も行います。

体育館 バレーボール、バスケットボール、バドミントン、体操等室内競技を行う体育場と、卓球場を運営しています。

武道館 剣道場と柔道場を運営しています。

東運動場 ナイター照明を備え、主にソフトボール、軟式野球、グラウンド・ゴルフ等が盛んに行われています。

東庭球場 一部ナイター照明を備え、全4面の人工芝コートを設置しています。

大野揖斐川パーク 揖斐川河川敷を開放し、サッカーやグライダー滑空場として利用されています。

運動公園レインボースタジアム 両翼92m、センター120mの球場で、5,700余名を収容できるスタンド、電光掲示のスコアボード、ナイター照明を備え、高校野球岐阜県大会の会場となる等、町内外から多くの利用者が訪れます。

運動公園メイプルグラウンド ソフトボール、サッカー、クロッケー等多目的に利用できる130m×140mの広さを持つグラウンドです。運動公園の外周は、ウォーキングコースとしても活用されています。

13-(4) 施設の現況

令和元年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。

建物名	延床面積、m ²	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
総合町民センター	8,506.07	RC等	1994	50	25	未	不要	A	A	A	A
屋外トイレ	33.12	RC等	1996	50	25	未	不要	A	A	A	A
自転車置場	28.40	S造	1996	34	9	未	不要	A	A	A	A
らく焼庫	15.93	CB造	1996	34	9	未	不要	A	A	A	A
中央公民館	1,036.67	RC等	1967	47	△5	済	済	B	C	C	C
武道館	1,336.64	RC等	1977	47	5	済	済	A	B	B	B
体育館	1,559.15	S造	1973	38	△8	済	済	A	B	C	B
民俗資料館	211.60	木造	1968 (移築)	41	△10	未	無	—	—	—	—
旧北岡田家住宅	1,210.94	木造 土蔵造	—	—	—	済	要	—	—	—	—
(旧) 宿泊研修所	626.29	RC等	2002	47	30	済	済	A	A	A	A
東運動場	208.00	S造	1992	41	13	未	不要	B	B	B	B
運動公園(レインボースタジアム)	20,657.27	RC等	1999	47	27	未	不要	A	B	A	A
第1公民館	789.20	RC等	1993	47	21	未	不要	A	A	B	B
豊木地区農業構造改善センター(第2公民館)	641.00	RC等	1987	47	15	未	不要	A	B	B	A

建物名	延床面積 ㎡	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
富秋地区農業構造改善センター（第3公民館）	615.20	RC等	1989	47	17	未	不要	A	A	B	A
西郡地区農村集落多目的施設（第4公民館）	486.00	RC等	1988	50	19	未	不要	A	A	A	B
鶯地区農村集落多目的施設（第5公民館）	485.21	RC等	1989	50	20	未	不要	A	A	B	A
川合地区農村集落多目的施設（第6公民館）	549.28	RC等	1985	50	16	未	不要	A	B	C	A
埋蔵文化財センター	262.98	S造	1997	41	19	未	不要	—	—	—	—

13-（5）管理運営費の状況

令和元年度における管理運営費の状況は以下のとおりです。

施設名	R1年度 使用料等収入（千円）	R1年度維持管理等支出（千円）			収支（千円）
		維持費用	運営費用	合計	
総合市民センター	5,632	190,032	1,955	191,987	△186,355
中央公民館	80	5,215	3,533	8,748	△8,668
武道館	148	9,275	1,240	10,515	△10,367
体育館	465	4,052	4,104	8,156	△7,691
民俗資料館	0	308	0	308	△307
旧北岡田家住宅	0	9,774	354	10,128	△10,128
（旧）宿泊研修所	354	3,096	904	4,000	△3,647
東運動場	426	2,714	1,103	3,817	△3,391
運動公園（レインボースタジアム）	2,018	54,408	9,899	64,307	△62,289
第1公民館	258	5,106	3,533	8,639	△8,381

施設名	R1年度 使用料等収入（千円）	R1年度維持管理等支出（千円）			収支（千円）
		維持費用	運営費用	合計	
豊木地区農業構造改善センター（第2公民館）	130	5,491	3,836	9,327	△9,197
富秋地区農業構造改善センター（第3公民館）	131	3,967	3,533	7,500	△7,369
西郡地区農村集落多目的施設（第4公民館）	121	4,638	3,534	8,172	△8,051
鶯地区農村集落多目的施設（第5公民館）	60	3,293	3,534	6,827	△6,767
川合地区農村集落多目的施設（第6公民館）	106	3,944	3,836	7,780	△7,674
埋蔵文化財センター	-	-	-	-	-

13-（6）利用状況

平成29年度から令和元年度までの3年間の利用状況は以下のとおりです。

施設名	種別	H29	H30	R1	R1-H29 増減率
総合町民センター	利用者数	394,893	405,089	329,531	△16.6%
中央公民館	利用者数	9,208	10,205	6,659	△27.7%
武道館	利用者数	22,058	33,681	22,779	3.26%
体育館	利用者数	29,448	30,875	21,531	△26.89%
民俗資料館	利用者数	500	500	500	0%
旧北岡田家住宅	利用者数	361	609	1,087	301.12%
（旧）宿泊研修所	利用者数	544	983	319	—
東運動場	利用者数	26,569	27,754	14,725	△44.58%
運動公園（レインボースタジアム）	利用者数	35,983	34,264	44,176	22.76%
第1公民館	利用者数	21,473	18,060	17,397	△19.0%

施設名	種別	H29	H30	R1	R1-H29 増減率
豊木地区農業構造改善センター（第2公民館）	利用者数	22,919	19,735	20,649	△9.9%
富秋地区農業構造改善センター（第3公民館）	利用者数	9,915	7,092	8,175	△17.5%
西郡地区農村集落多目的施設（第4公民館）	利用者数	9,180	8,750	8,696	△5.3%
鶯地区農村集落多目的施設（第5公民館）	利用者数	10,397	6,814	5,869	△43.6%
川合地区農村集落多目的施設（第6公民館）	利用者数	9,108	8,794	8,858	△2.7%
埋蔵文化財センター	—	—	—	—	—

13-（7）対策費用の見通し

対象施設における今後の対策費用について、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件単価で試算した結果や過去の修繕費用等を元に算出しました。

なお、対策費用はいずれも本計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や今後の災害時の発生状況、社会情勢の変化により、費用の見通しに変動が生じる場合があります。

今後10年間における修繕更新費用の見込み

（単位：千円）

施設名	短期修繕更新予想費用 （1年～3年）	中長期修繕更新予想費用 （4年から10年）	合計
総合市民センター	50,218	487,075	537,293
中央公民館	568	1,044	1,612
武道館	0	0	0
体育館	0	3,406,500	3,406,500
民俗資料館	0	0	0
旧北岡田家住宅	60,000	0	60,000
（旧）宿泊研修所	0	0	0
東運動場	0	0	0
運動公園（レインボースタジアム）	643	235,146	235,789
第1公民館	0	21,240	21,240

施設名	短期修繕更新予想費用 (1年～3年)	中長期修繕更新予想費用 (4年から10年)	合計
豊木地区農業構造改善センター(第2公民館)	0	20,000	20,000
富秋地区農業構造改善センター(第3公民館)	1,240	40,000	41,240
西郡地区農村集落多目的施設(第4公民館)	11,027	20,000	31,027
鶯地区農村集落多目的施設(第5公民館)	20,000	38,760	58,760
川合地区農村集落多目的施設(第6公民館)	0	0	0
埋蔵文化財センター	7,100	0	7,100
合計	150,796	4,269,765	4,420,561

13-(8) 管理運営費等の見通し

過去の実績値等を元に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは、以下のとおりです。

施設名	管理運営費等(千円)		
	2021(R3)～2025(R7)		
	歳出	歳入	実質負担額
総合市民センター	959,937	28,160	988,097
中央公民館	43,740	400	43,340
武道館	52,570	743	51,827
体育館	40,776	2,326	38,450
民俗資料館	114	0	114
旧北岡田家住宅	51,075	0	51,075
(旧) 宿泊研修所	0	0	0
東運動場	19,082	2,133	16,949
大野町運動公園(レインボースタジアム)	321,531	10,092	311,439
第1公民館	43,197	1,289	41,908
豊木地区農業構造改善センター(第2公民館)	46,635	650	45,985
富秋地区農業構造改善センター(第3公民館)	37,502	654	36,848

施設名	管理運営費等（千円）		
	2021 (R3)～2025 (R7)		
	歳出	歳入	実質負担額
西郡地区農村集落多目的施設（第4公民館）	40,859	605	40,254
鶯地区農村集落多目的施設(第5公民館)	34,134	298	33,836
川合地区農村集落多目的施設（第6公民館）	38,899	528	38,371
埋蔵文化財センター	22,282	0	22,282
合計	1,212,333	22,729	1,189,604

13- (9) 施設の評価結果

再編の方向性の検討方法に基づいた施設の評価結果は次のとおりです。

施設名	管理運営方式	1次評価	2次評価					総合評価	
			公共性	有効性	効率性	代替性	特質性	機能	建物
総合町民センター	指定管理	現状維持	A	A	B	B	B	継続	大規模改修
中央公民館	直営	統廃合	B	C	C	C	B	継続	統合
武道館	直営	統廃合	A	A	C	B	C	建て替え	建て替え
体育館	直営	建て替え	A	A	C	B	C	建て替え	建て替え
民俗資料館	直営	統廃合	B	C	B	B	B	継続	統合
旧北岡田家住宅	直営	現状維持	B	A	C	A	A	継続	長寿命化
(旧) 宿泊研修所	直営	廃止	B	B	B	B	B	廃止	廃止
東運動場	直営	統廃合	A	B	B	A	C	維持	長寿命化
運動公園(レインボースタジアム)	直営	収支改善	A	B	C	A	C	維持	長寿命化
第1公民館	直営	現状維持	B	B	B	B	B	継続	大規模改修
豊木地区農業構造改善センター（第2公民館）	直営	現状維持	B	B	B	B	B	継続	大規模改修

施設名	管理運営方式	1次評価	2次評価					総合評価	
			公共性	有効性	効率性	代替性	特質性	機能	建物
富秋地区農業構造改善センター（第3公民館）	直営	収支・機能改善	B	B	B	B	B	継続	大規模改修
西郡地区農村集落多目的施設（第4公民館）	直営	収支・機能改善	B	B	B	B	B	継続	大規模改修
鶯地区農村集落多目的施設（第5公民館）	直営	収支・機能改善	B	B	B	B	B	継続	大規模改修
川合地区農村集落多目的施設（第6公民館）	直営	収支・機能改善	B	B	B	B	B	継続	大規模改修
埋蔵文化財センター	直営	現状維持	A	A	A	A	A	継続	長寿命化

13-（10）施設の再編等スケジュール

総合管理計画		<p>① 総合市民センターは、施設・設備などの老朽化がやや進行しており、今後、施設が大きく莫大な費用が予想されるため計画的な大規模修繕等を行う必要がある。また、現在は指定管理者制度をとっているが、民間又は地域への移譲や施設の統合も視野に入れた検討が必要である。</p> <p>② 公民館は、全ての施設が更新時期となっており、今後、大規模修繕・建て替え等を行う必要がある。</p> <p>③ 武道館・体育館ともに更新時期となっており、今後、大規模修繕・建て替え等を行う必要がある。</p> <p>④ 民俗資料館は、旧耐震基準となっており建て替え時期を迎えている。</p>						
No	名称	機能	建物	スケジュール （上段：工程表、中段：対策費用（千円）、下段施設点検）				
				R3	R4	R5	R6	R7
74	総合市民センター	継続	大規模改修	空調修繕	熱源ユニット更新	空調修繕	音響修繕（1期）	音響修繕（2期）
				1,690	18,117	30,411	31,458	30,411
				特定建築物	特定建築物	特定建築物	特定建築物	特定建築物
現在の機能を継続して提供することを目的に、長寿命化のため大規模改修を行います。								

No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
75	中央公民館	廃止	統合	—	—	—	—	—
				568	—	—	568	—
				特定建築物	—	—	特定建築物	—
施設の老朽化が激しく利用度も悪いいため廃止を目指して、町民センターや他の公民館へ機能の統合を検討します。								
76	武道館	統合	統廃合	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
施設の損耗、老朽化が激しく、維持管理を行いながら、町民体育館と合わせて改修、改設を検討します。								
77	体育館	統合	統廃合	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
施設の損耗、老朽化が激しく、維持管理を行いながら、町民武道館と合わせて改修、改設を検討します。								
78	民俗資料館	統合	統廃合	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
施設の損耗、老朽化が激しいが収蔵物の移転が難しいため、維持管理を行いながら、埋蔵文化財センター・旧北岡田家住宅と合わせて機能の再編を検討します。								
79	旧北岡田家住宅	継続	継続	—	主屋屋根葺替	主屋屋根葺替	トイレ設置	—
				—	30,000	30,000	20,000	—
				—	—	—	—	—
特定文化財の保存活用計画に従い、適切な維持管理、改修を継続します。								
80	(旧) 宿泊研修所	廃止	廃止	方針検討	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
施設の機能廃止を行ったため、建物について他機能で活用するか取壊しをするのか方針の検討をしていきます。								

No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
81	東運動場	継続	継続	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								
82	運動公園 (レインボースタジアム)	継続	継続	—	—	—	—	—
				643	—	—	643	—
				特定建築物調査	—	—	特定建築物調査	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理しながら、体育館新設とともに、機能の拡充を検討します。								
83	第1公民館	継続	大規模改修	—	—	—	屋根・外壁改修設計	屋根・外壁改修工事
				—	—	—	1,240	18,760
				—	—	—	—	—
現在の機能を継続して提供することを目的に、長寿命化のため大規模改修を行います。								
84	豊木地区農業構造改善センター (第2公民館)	継続	大規模改修	—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
				—	—	—	—	—
現在の機能を継続して提供することを目的に、長寿命化のため大規模改修を行います。								
85	富秋地区農業構造改善センター (第3公民館)	継続	大規模改修	—	—	空調改修設計	空調改修工事	—
				—	—	1,240	18,760	—
				—	—	—	—	—
現在の機能を継続して提供することを目的に、長寿命化のため大規模改修を行います。								

No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
86	西郡地区農村集落多目的施設(第4公民館)	継続	大規模改修	—	駐車場整備工事	—	—	屋根・外壁改修設計
				—	11,027	—	—	1,240
				—	—	—	—	—
現在の機能を継続して提供することを目的に、長寿命化のため大規模改修を行います。								
87	鶯地区農村集落多目的施設(第5公民館)	継続	大規模改修	—	空調改修設計	空調改修工事	—	—
				—	1,240	18,760	—	—
				—	—	—	—	—
現在の機能を継続して提供することを目的に、長寿命化のため大規模改修を行います。								
88	川合地区農村集落多目的施設(第6公民館)	継続	大規模改修	—	—	—	—	外壁改修工事
				—	—	—	—	18,760
				—	—	—	—	—
現在の機能を継続して提供することを目的に、長寿命化のため大規模改修を行います。								
89	埋蔵文化財センター	継続	継続	映像設備等	展示模型等	—	—	—
				5,000	2,100	—	—	—
				—	—	—	—	—
大きな不良箇所はなく、引き続き適正な維持保全を基本として管理していきます。								

14 普通財産施設【旧大野町学校給食センター】

14-（1）施設設置の背景と目的

大野町内の保育園及び各小中学校へ対し、生徒給食を賄うため 1984 年に設立されました。しかし、老朽化及び給食の調理基準を満たすため、平成 28 年に池田町へ新しく給食センターを建設したため、現在は当初の目的を果たし、役割を終えています。

14-（2）施設を取り巻く現状と課題

平成 30 年 4 月から 5 年契約で株式会社中部理化へ建物・土地を貸し付けており、維持管理や大規模修繕は企業が行うこととなっています。5 年後も再度賃貸借契約を結ぶことを検討します。

14-（3）施設の現況

令和元年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。

建物名	延床面積 ² m	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
旧大野町学校給食センター	1,472.00	S造	1984	38	3	-	-	-	-	-	-

※契約により企業が建物の維持・修繕工事（大規模改修）を行うとしており、既に企業により建物の改修工事がされているため、未確認としました。

14-（4）管理運営費の状況

令和元年度における管理運営費の状況は以下のとおりです。

施設名	R1 年度 使用料等収入（千円）	R1 年度維持管理等支出（千円）			収支（千円）
		維持費用	運営費用	合計	
旧大野町学校給食センター	6,199	36	0	36	6,163

14-（5）利用状況

平成 29 年度から令和元年度までの 3 年間の利用状況は以下のとおりです。

施設名	種別	H29	H30	R1	R1-H29 増減率
旧大野町学校給食センター	職員数		企業へ貸出	企業へ貸出	-

14-(6) 対策費用の見通し

対象施設における今後の対策費用について、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件単価で試算した結果や過去の修繕費用等を元に算出しました。

なお、対策費用はいずれも本計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や今後の災害時の発生状況、社会情勢の変化により、費用の見通しに変動が生じる場合があります。

今後10年間における修繕更新費用の見込み

(単位：千円)

施設名	短期修繕更新予想費用 (1年～3年)	中長期修繕更新予想費用 (4年から10年)	合計
旧大野町学校給食センター	0	0	0

14-(7) 管理運営費等の見通し

過去の実績値等を元に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは、以下のとおりです。

施設名	管理運営費等 (千円)		
	2021(R3)～2025(R7)		
	歳出	歳入	実質負担額
旧大野町学校給食センター	180	30,990	△30,810

14-(8) 施設の評価結果

再編の方向性の検討方法に基づいた施設の評価結果は次のとおりです。

施設名	管理運営方式	1次評価	2次評価					総合評価	
			公共性	有効性	効率性	代替性	特質性	機能	建物
旧大野町学校給食センター	民間		A	A	B	B	B	維持	

14-(9) 施設の再編等スケジュール

総合管理計画		① 企業に貸付を行っており、企業が維持・修繕等を行うこととなっています。						
No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
90	旧大野町学校 給食センター	/	/	-	契約更新検 討	-	-	-
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
平成30年4月から5年契約で企業に建物・土地を貸し付けており、維持管理は企業となっています。企業により建物の改修がされているため、契約更新時に継続して貸し出しをする方針で検討します。								

15 普通財産施設【旧デイサービスセンター】

15-（1）施設設置の背景と目的

デイサービスセンターは、介護を必要とする方が、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、必要な日常生活上の支援を行うことにより、利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的とした施設です。しかし、現在は当初の目的を果たし、役割を終えています。

15-（2）施設を取り巻く現状と課題

令和2年10月から10年契約で企業へ建物・土地の貸し付けしており、維持管理や大規模修繕は企業が行うこととなっています。貸し付けから10年後に、無償譲渡又は再度賃貸借契約を結ぶこと等を検討します。

15-（3）施設の現況

令和元年度末現在の施設の保有状況は以下のとおりです。

建物名	延床面積 m ²	構造	建築年	耐用年数	残寿命	耐震		直近の定期点検結果			
						診断	補強	躯体	外壁	屋根	内装
旧デイサービスセンター	887.61	RC	1995	47	23	-	-	-	-	-	-
車庫	99.30	S造	1995	34	10	-	-	-	-	-	-

15-（4）管理運営費の状況

令和元年度における管理運営費の状況は以下のとおりです。

施設名	R1年度 使用料等収入（千円）	R1年度維持管理等支出（千円）			収支（千円）
		維持費用	運営費用	合計	
旧デイサービスセンター	0	1,163			△1,163

15-（5）利用状況

平成29年度から令和元年度までの3年間の利用状況は以下のとおりです。

施設名	種別	H29	H30	R1	R1-H29 増減率
旧デイサービスセンター	利用者	7,731	6,223		

15- (6) 対策費用の見通し

対象施設における今後の対策費用について、総務省が公開している「公共施設更新費用試算ソフト」と同様の条件単価で試算した結果や過去の修繕費用等を元に算出しました。

なお、対策費用はいずれも本計画策定時点における概算であり、具体の工事発注時における詳細な設計や今後の災害時の発生状況、社会情勢の変化により、費用の見通しに変動が生じる場合があります。

今後10年間における修繕更新費用の見込み

(単位:千円)

施設名	短期修繕更新予想費用 (1年~3年)	中長期修繕更新予想費用 (4年から10年)	合計
旧デイサービスセンター	0	0	0
合計	0	0	0

15- (7) 管理運営費等の見通し

過去の実績値等を元に推計した計画期間内における管理運営費等の見通しは、以下のとおりです。

施設名	管理運営費等 (千円)		
	2021(R3)~2025(R7)		
	歳出	歳入	実質負担額
旧デイサービスセンター	0	0	0
合計	0	0	0

15- (8) 施設の評価結果

再編の方向性の検討方法に基づいた施設の評価結果は次のとおりです。

施設名	管理運営方式	1次評価	2次評価					総合評価	
			公共性	有効性	効率性	代替性	特質性	機能	建物
旧デイサービスセンター	民間委託	建て替え	B	B	B	B	B	廃止	廃止

15-(9) 施設の再編等スケジュール

総合管理計画における課題認識		① 年少人口の減少傾向を踏まえ、民間移譲も視野に入れたうえでの民間への貸出しを行うことに決定しました。						
No	名称	機能	建物	スケジュール (上段：工程表、中段：対策費用(千円)、下段施設点検)				
				R3	R4	R5	R6	R7
1	旧デイサービスセンター	/	/	-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-
施設の機能を廃止し、無償にて民間へ10年間の貸し付けをしました。								

第3章 本計画の進捗管理について

(1) - 1 方針

今後、総合管理計画の方針や本計画における各施設の方向性に基づき、個別施設ごとに具体的な取り組みを行います。事務的な整理や整備手法などの検討や具体的な対策の実施にあたっては、対象施設に関連する市民・施設利用者・関係団体等との協議を行い、十分な調整と合意形成を図りながら進めます。また、長寿命化や複合施設化、予防・維持保全の推進を行う施設については、それぞれ修繕（改修）計画を策定し、実際の事業実施に際しては、財政状況との整合性を図り財政負担の平準化を図ります。なお、対策（方向性）が「維持」「検討」となっている施設においても、建物の残寿命が短いものや社会情勢や町民ニーズの変化により施設の在り方を考慮するものについては、次回の計画策定時において対策（方向性）を検討します。

(1) - 2 推進体制

本計画に記載している対策については、各公共施設の所管課を中心として実施します。一方で公共施設の統廃合や多機能化等、施設の再編などによる町民サービスの向上は、全体の最適化に資するものであることから、公共施設の規模の最適化や多機能化等の取り組みについては、全庁的な推進体制を整備し、推進していきます。また、推進については、議会・行政改革委員会・住民等と報告・協議・審議のうえ、進めていきます。

大野町総務部総務課

令和3年7月

(令和5年3月一部改訂)

(令和6年3月一部改訂)